

問6 過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか。

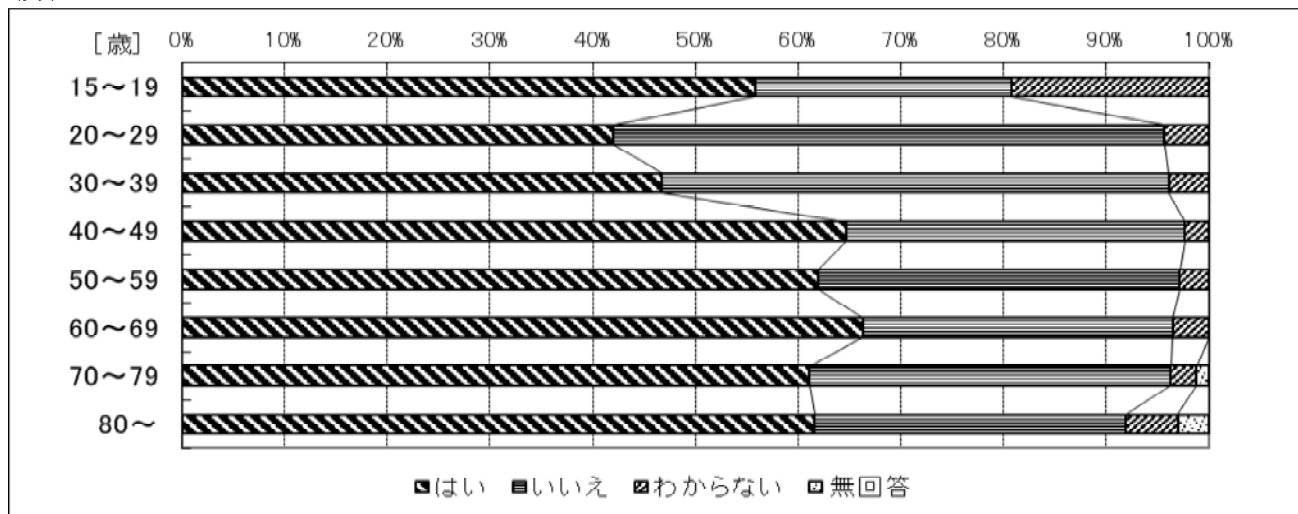
- 過去1年間に歯石除去を行ったものは64.1%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳の年齢階級で70.0%と最も高く、20～29歳で55.6%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で66.4%と最も高く、20～29歳で42.0%と最も低かった。
- 女性では、50～59歳で73.4%と最も高く、40～49歳、80歳以上で61.7%と最も低かった。

表2—19 過去1年間の歯石除去の状況

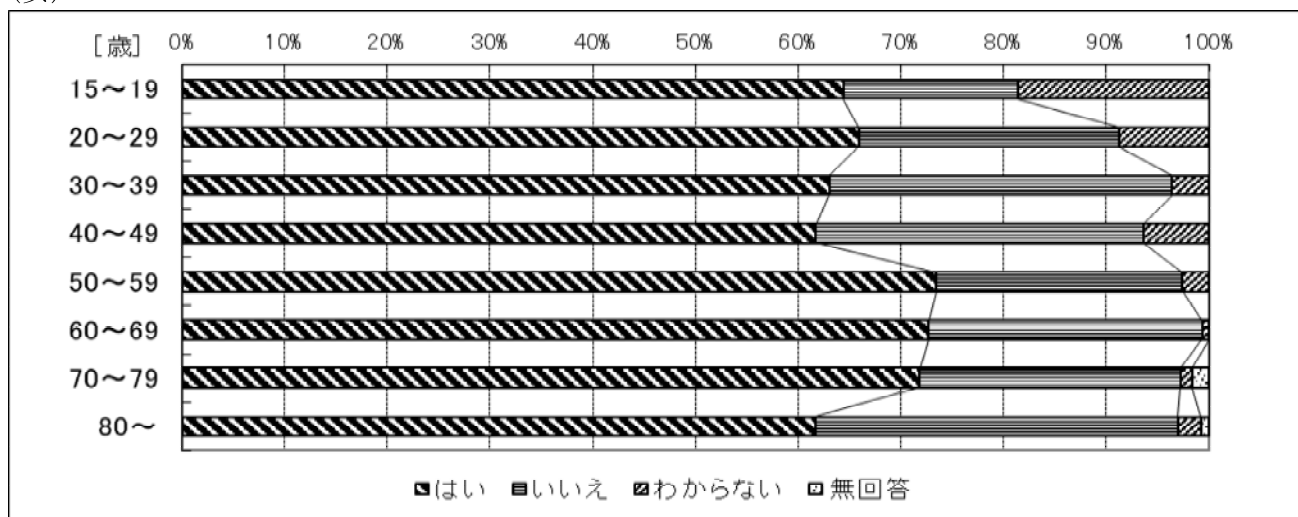
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	29 (55.8)	29 (42.0)	36 (46.8)	55 (64.7)	65 (61.9)	75 (66.4)	99 (61.1)	61 (61.6)	449 (58.9)
	いいえ	13 (25.0)	37 (53.6)	38 (49.4)	28 (32.9)	37 (35.2)	34 (30.1)	57 (35.2)	30 (30.3)	274 (36.0)
	わからない	10 (19.2)	3 (4.3)	3 (3.9)	2 (2.4)	3 (2.9)	4 (3.5)	4 (2.5)	5 (5.1)	34 (4.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.2)	3 (3.0)	5 (0.7)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	38 (64.4)	60 (65.9)	70 (63.1)	87 (61.7)	141 (73.4)	112 (72.7)	130 (71.8)	82 (61.7)	720 (67.8)
	いいえ	10 (16.9)	23 (25.3)	37 (33.3)	45 (31.9)	46 (24.0)	41 (26.6)	46 (25.4)	47 (35.3)	295 (27.8)
	わからない	11 (18.6)	8 (8.8)	4 (3.6)	9 (6.4)	5 (2.6)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (2.3)	43 (4.0)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.7)	1 (0.8)	4 (0.4)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	67 (60.4)	89 (55.6)	106 (56.4)	142 (62.8)	206 (69.4)	187 (70.0)	229 (66.8)	143 (61.6)	1169 (64.1)
	いいえ	23 (20.7)	60 (37.5)	75 (39.9)	73 (32.3)	83 (27.9)	75 (28.1)	103 (30.0)	77 (33.2)	569 (31.2)
	わからない	21 (18.9)	11 (6.9)	7 (3.7)	11 (4.9)	8 (2.7)	5 (1.9)	6 (1.7)	8 (3.4)	77 (4.2)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (1.5)	4 (1.7)	9 (0.5)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

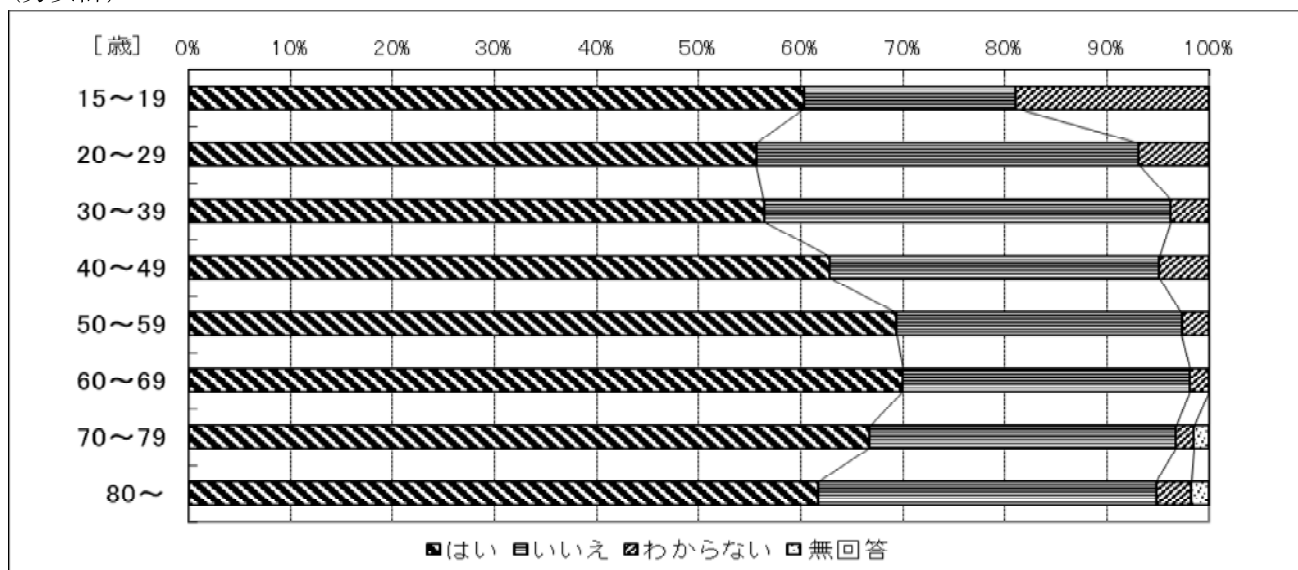


図 2—16 過去1年間の歯石除去の状況

問7 過去1年間に歯科医院でフッ素塗布をしてもらったことがありますか。

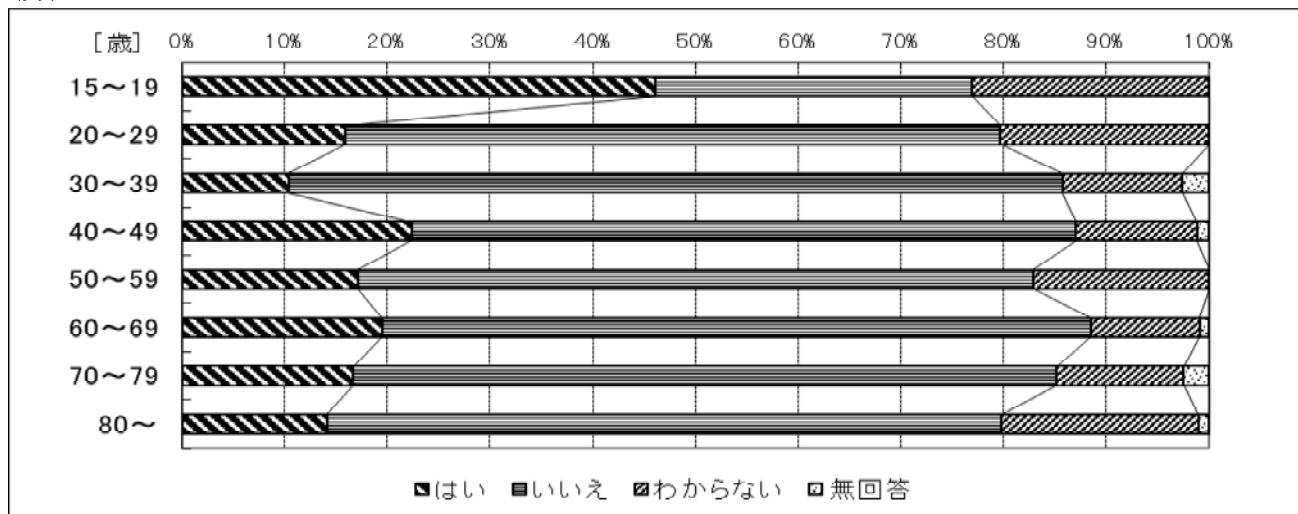
- 過去1年間に歯科医院でフッ素塗布してもらった者は20.7%であった。
- 年齢階級別にみると、15～19歳の年齢階級で48.6%と最も高く、80歳以上で15.1%と最も低かった。
- 男性では、15～19歳で46.2%と最も高く、30～39歳で10.4%と最も低かった。
- 女性では、15～19歳で50.8%と最も高く、80歳以上で15.8%と最も低かった。

表2—20 過去1年間の歯科医院におけるフッ素塗布状況

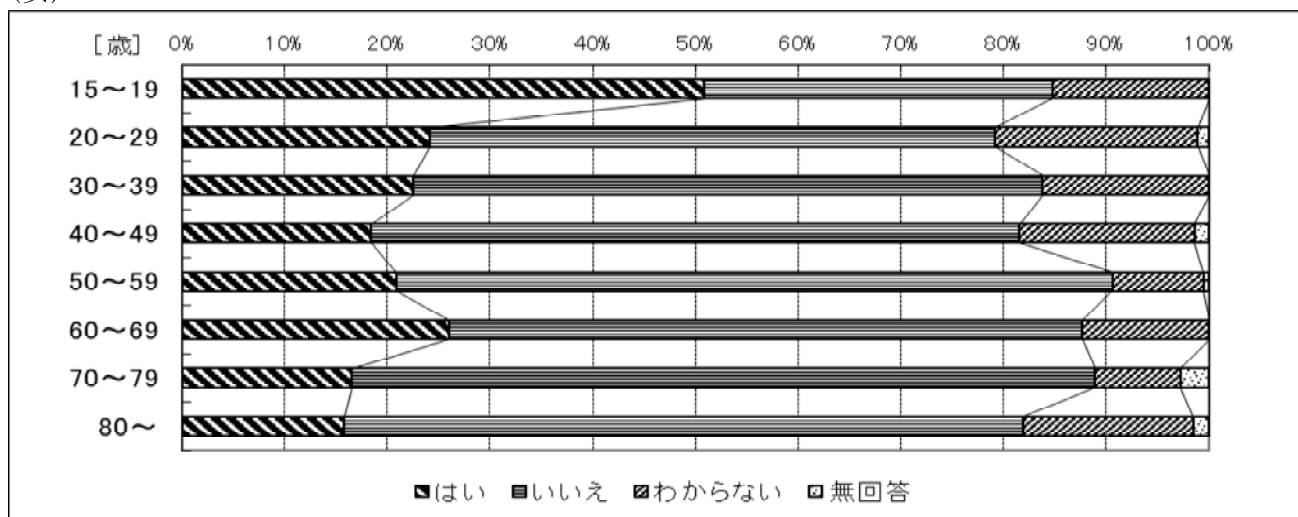
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	24 (46.2)	11 (15.9)	8 (10.4)	19 (22.4)	18 (17.1)	22 (19.5)	27 (16.7)	14 (14.1)	143 (18.8)
	いいえ	16 (30.8)	44 (63.8)	58 (75.3)	55 (64.7)	69 (65.7)	78 (69.0)	111 (68.5)	65 (65.7)	496 (65.1)
	わからない	12 (23.1)	14 (20.3)	9 (11.7)	10 (11.8)	18 (17.1)	12 (10.6)	20 (12.3)	19 (19.2)	114 (15.0)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (0.9)	4 (2.5)	1 (1.0)	9 (1.2)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	30 (50.8)	22 (24.2)	25 (22.5)	26 (18.4)	40 (20.8)	40 (26.0)	30 (16.6)	21 (15.8)	234 (22.0)
	いいえ	20 (33.9)	50 (54.9)	68 (61.3)	89 (63.1)	134 (69.8)	95 (61.7)	131 (72.4)	88 (66.2)	675 (63.6)
	わからない	9 (15.3)	18 (19.8)	18 (16.2)	24 (17.0)	17 (8.9)	19 (12.3)	15 (8.3)	22 (16.5)	142 (13.4)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	2 (1.5)	11 (1.0)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	54 (48.6)	33 (20.6)	33 (17.6)	45 (19.9)	58 (19.5)	62 (23.2)	57 (16.6)	35 (15.1)	377 (20.7)
	いいえ	36 (32.4)	94 (58.8)	126 (67.0)	144 (63.7)	203 (68.4)	173 (64.8)	242 (70.6)	153 (65.9)	1171 (64.2)
	わからない	21 (18.9)	32 (20.0)	27 (14.4)	34 (15.0)	35 (11.8)	31 (11.6)	35 (10.2)	41 (17.7)	256 (14.0)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	1 (0.4)	9 (2.6)	3 (1.3)	20 (1.1)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

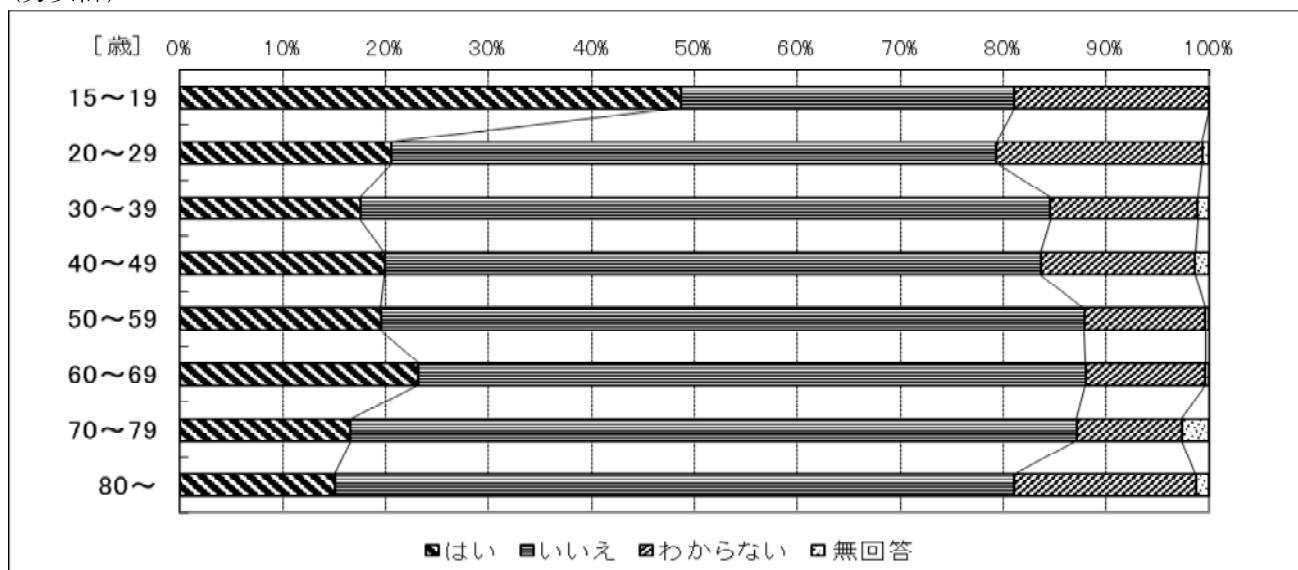


図 2—17 過去1年間の歯科医院におけるフッ素塗布状況

問8 過去1年間に歯みがきの個人指導を受けましたか。

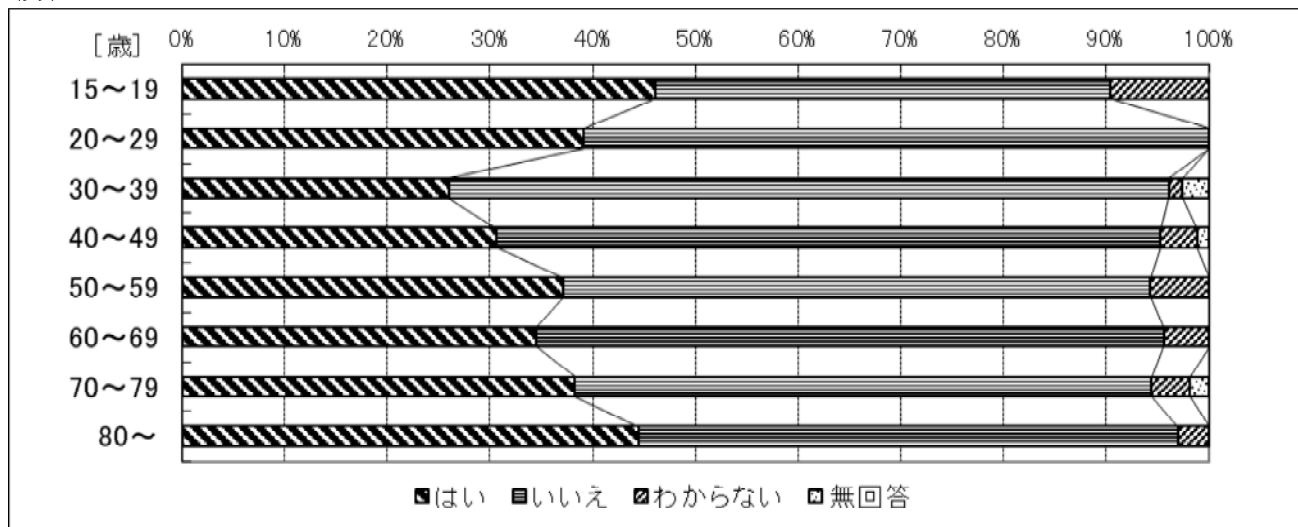
- 過去1年間に歯みがきの個人指導を受けている者は41.4%であった。
- 年齢階級別にみると、15～19歳の年齢階級で48.6%と最も高く、40～49歳で34.1%と最も低かった。
- 男性では、15～19歳で46.2%と最も高く、30～39歳で26.0%と最も低かった。
- 女性では、15～19歳、70～79歳で50.8%と最も高く、40～49歳で36.2%と最も低かった。
- 全ての年齢階級で男性に比べて女性の方が高かった。

表 2—21 過去1年間の歯みがきの個人指導の状況

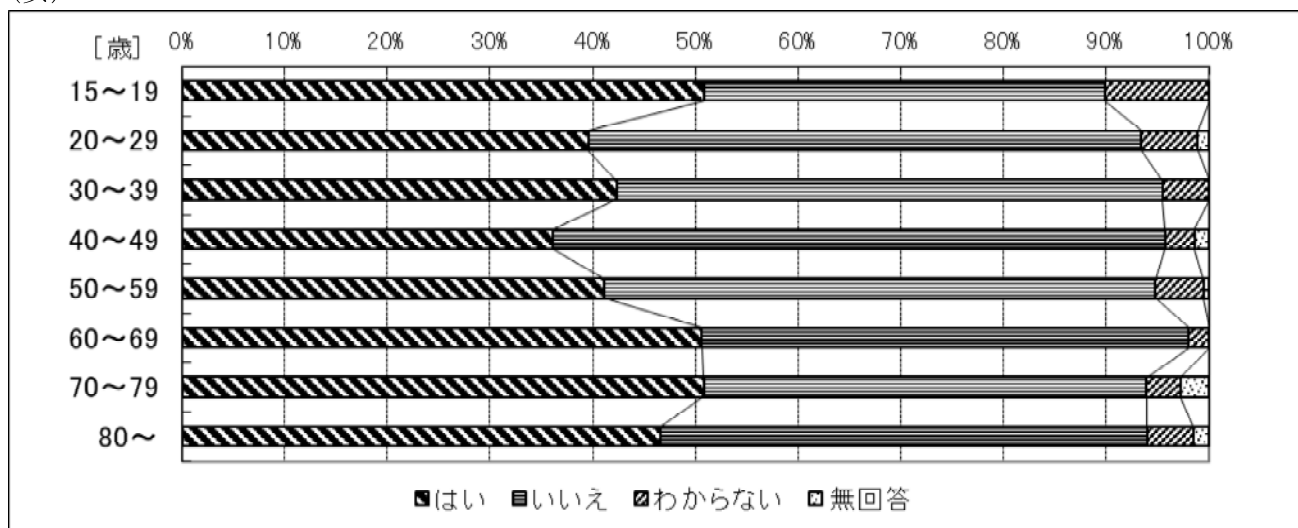
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	24 (46.2)	27 (39.1)	20 (26.0)	26 (30.6)	39 (37.1)	39 (34.5)	62 (38.3)	44 (44.4)	281 (36.9)
	いいえ	23 (44.2)	42 (60.9)	54 (70.1)	55 (64.7)	60 (57.1)	69 (61.1)	91 (56.2)	52 (52.5)	446 (58.5)
	わからない	5 (9.6)	0 (0.0)	1 (1.3)	3 (3.5)	6 (5.7)	5 (4.4)	6 (3.7)	3 (3.0)	29 (3.8)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.9)	0 (0.0)	6 (0.8)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	30 (50.8)	36 (39.6)	47 (42.3)	51 (36.2)	79 (41.1)	78 (50.6)	92 (50.8)	62 (46.6)	475 (44.7)
	いいえ	23 (39.0)	49 (53.8)	59 (53.2)	84 (59.6)	103 (53.6)	73 (47.4)	78 (43.1)	63 (47.4)	532 (50.1)
	わからない	6 (10.2)	5 (5.5)	5 (4.5)	4 (2.8)	9 (4.7)	3 (1.9)	6 (3.3)	6 (4.5)	44 (4.1)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	2 (1.5)	11 (1.0)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	54 (48.6)	63 (39.4)	67 (35.6)	77 (34.1)	118 (39.7)	117 (43.8)	154 (44.9)	106 (45.7)	756 (41.4)
	いいえ	46 (41.4)	91 (56.9)	113 (60.1)	139 (61.5)	163 (54.9)	142 (53.2)	169 (49.3)	115 (49.6)	978 (53.6)
	わからない	11 (9.9)	5 (3.1)	6 (3.2)	7 (3.1)	15 (5.1)	8 (3.0)	12 (3.5)	9 (3.9)	73 (4.0)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	8 (2.3)	2 (0.9)	17 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

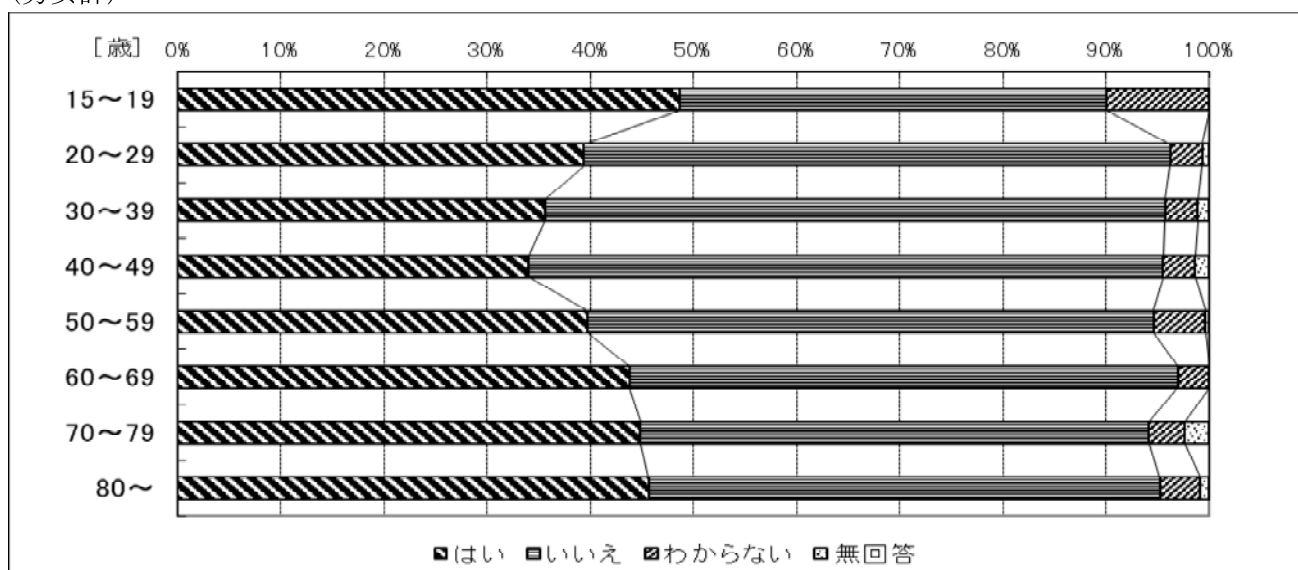


図 2—18 過去1年間の歯みがきの個人指導の状況

問9 かかりつけ歯科医院がありますか。

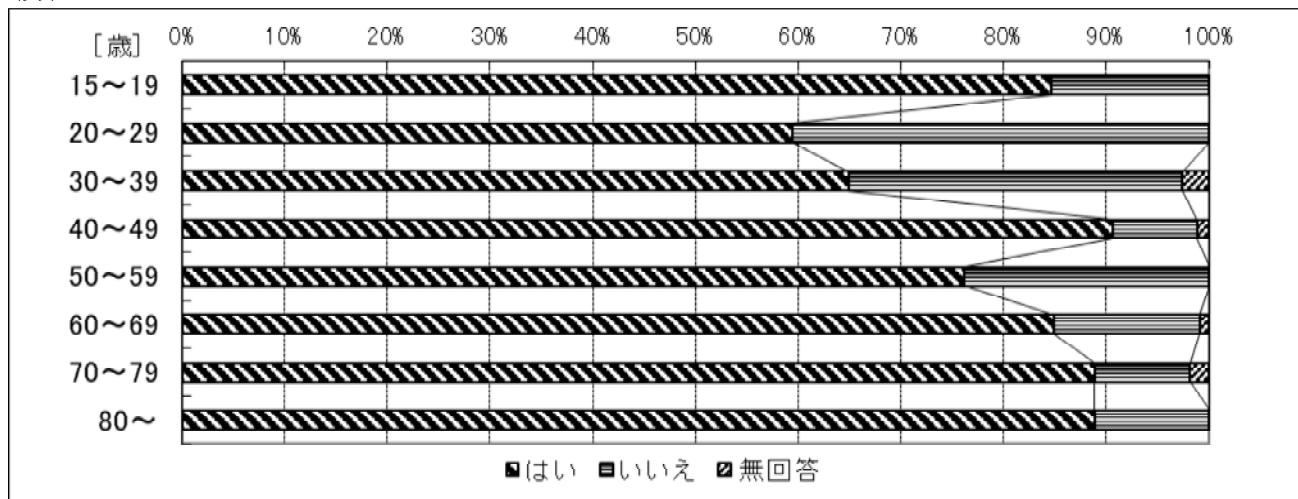
- かかりつけ歯科医がある者の割合は、全体で 85.2%であった。
- 年齢階級別にみると、15～19 歳の年齢階級で 90.1%と最も高く、20～29 歳で 70.0%と最も低かった。
- 男性では、40～49 歳で 90.6%と最も高く、20～29 歳で 59.4%と最も低かった。
- 女性では、15～19 歳で 94.9%と最も高く、20～29 歳で 78.0%と最も低かった。

表 2—22 かかりつけ歯科医院の状況

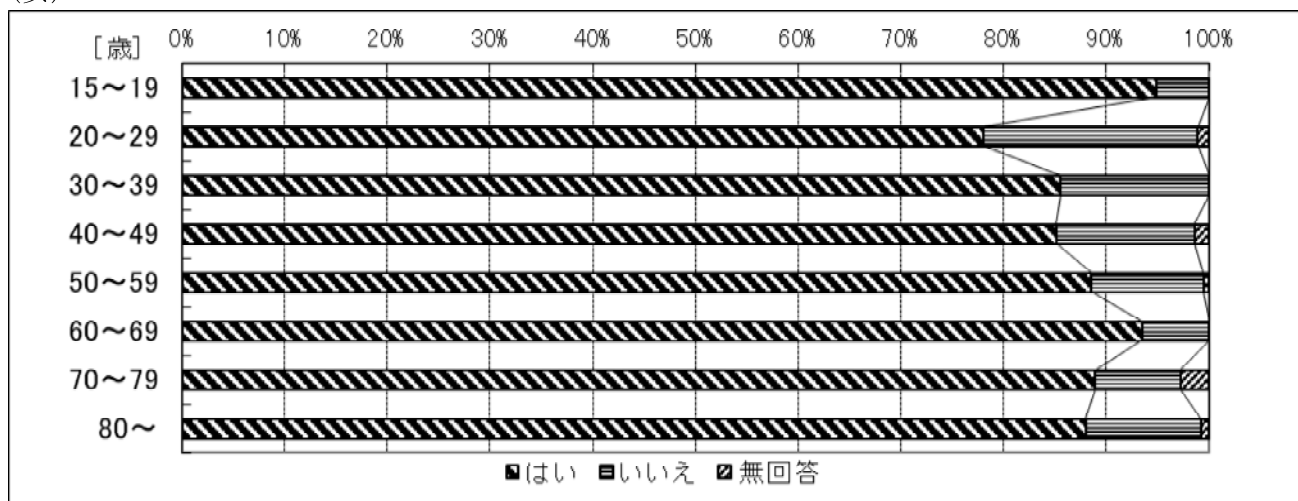
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	44 (84.6)	41 (59.4)	50 (64.9)	77 (90.6)	80 (76.2)	96 (85.0)	144 (88.9)	88 (88.9)	620 (81.4)
	いいえ	8 (15.4)	28 (40.6)	25 (32.5)	7 (8.2)	25 (23.8)	16 (14.2)	15 (9.3)	11 (11.1)	135 (17.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (0.9)	3 (1.9)	0 (0.0)	7 (0.9)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	56 (94.9)	71 (78.0)	95 (85.6)	120 (85.1)	170 (88.5)	144 (93.5)	161 (89.0)	117 (88.0)	934 (87.9)
	いいえ	3 (5.1)	19 (20.9)	16 (14.4)	19 (13.5)	21 (10.9)	10 (6.5)	15 (8.3)	15 (11.3)	118 (11.1)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	1 (0.8)	10 (0.9)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	100 (90.1)	112 (70.0)	145 (77.1)	197 (87.2)	250 (84.2)	240 (89.9)	305 (88.9)	205 (88.4)	1554 (85.2)
	いいえ	11 (9.9)	47 (29.4)	41 (21.8)	26 (11.5)	46 (15.5)	26 (9.7)	30 (8.7)	26 (11.2)	253 (13.9)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	1 (0.4)	8 (2.3)	1 (0.4)	17 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

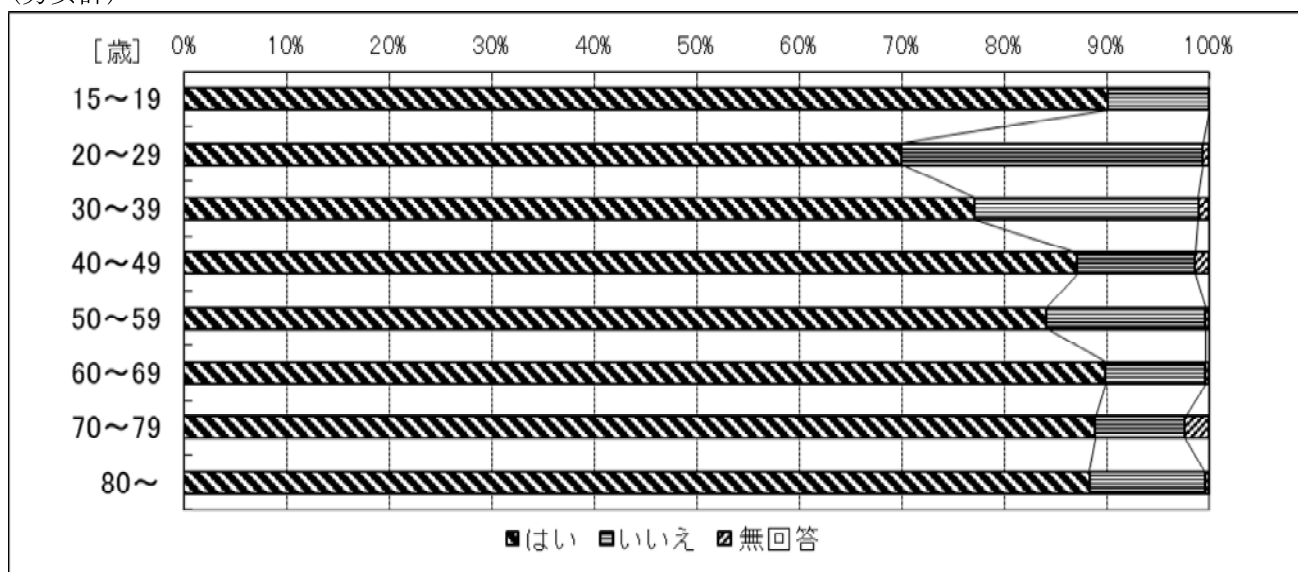


図 2—19 かかりつけ歯科医院の状況



問10 歯周病がどのような病気か知っていますか。

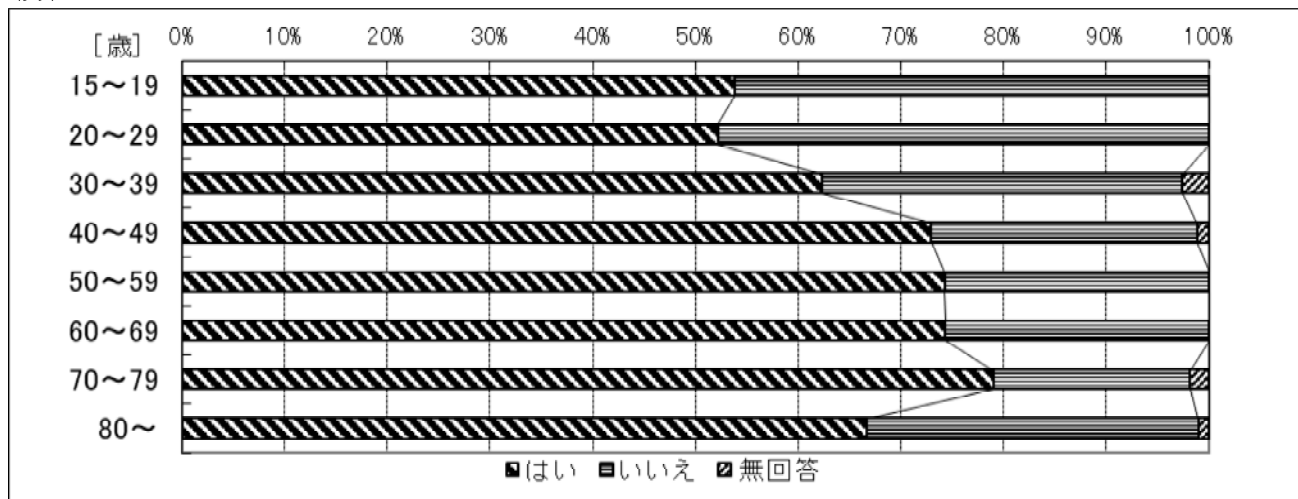
- 歯周病の認知度は、全体で 76.3%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69 歳の年齢階級で 84.3%と最も高く、15～19 歳で 60.4%と最も低かった。
- 男性では、70～79 歳で 79.0%と最も高く、20～29 歳で 52.2%と最も低かった。
- 女性では、60～69 歳で 91.6%と最も高く、15～19 歳で 66.1%と最も低かった。
- 全ての年齢階級で男性に比べて女性の方が高かった。

表 2—23 歯周病の認知度

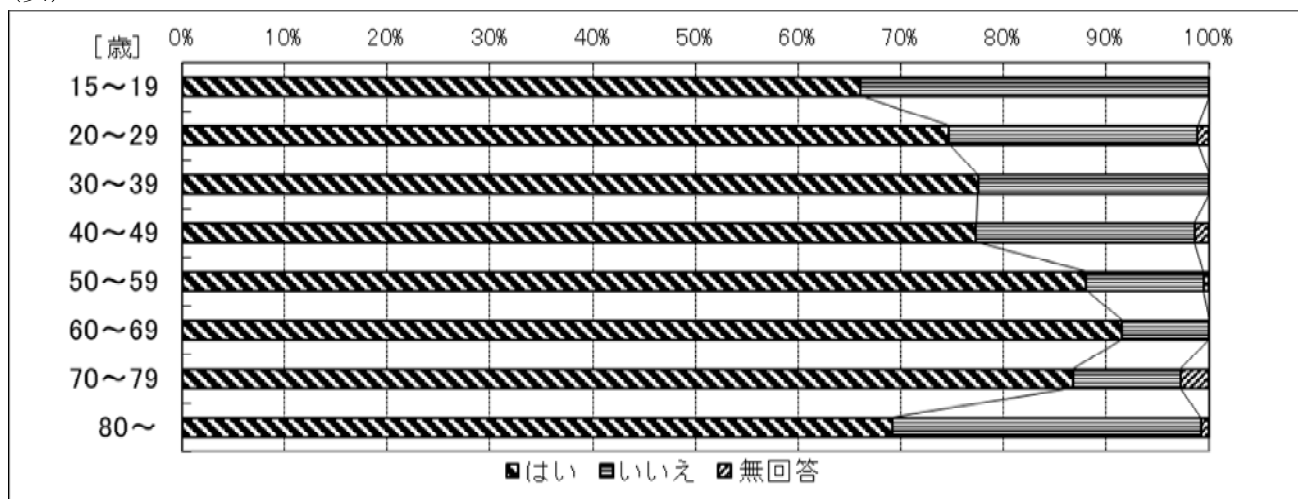
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	28 (53.8)	36 (52.2)	48 (62.3)	62 (72.9)	78 (74.3)	84 (74.3)	128 (79.0)	66 (66.7)	530 (69.6)
	いいえ	24 (46.2)	33 (47.8)	27 (35.1)	22 (25.9)	27 (25.7)	29 (25.7)	31 (19.1)	32 (32.3)	225 (29.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.9)	1 (1.0)	7 (0.9)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	39 (66.1)	68 (74.7)	86 (77.5)	109 (77.3)	169 (88.0)	141 (91.6)	157 (86.7)	92 (69.2)	861 (81.1)
	いいえ	20 (33.9)	22 (24.2)	25 (22.5)	30 (21.3)	22 (11.5)	13 (8.4)	19 (10.5)	40 (30.1)	191 (18.0)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	1 (0.8)	10 (0.9)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	67 (60.4)	104 (65.0)	134 (71.3)	171 (75.7)	247 (83.2)	225 (84.3)	285 (83.1)	158 (68.1)	1391 (76.3)
	いいえ	44 (39.6)	55 (34.4)	52 (27.7)	52 (23.0)	49 (16.5)	42 (15.7)	50 (14.6)	72 (31.0)	416 (22.8)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	8 (2.3)	2 (0.9)	17 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

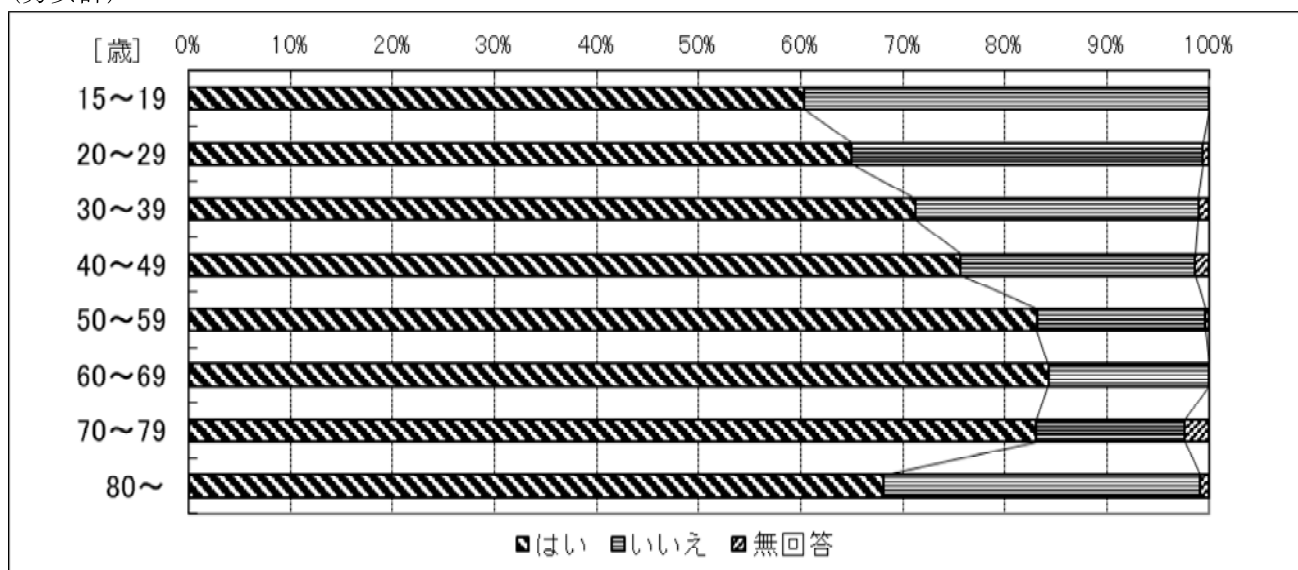


図 2—20 歯周病の認知度

問 1 1 歯周病と糖尿病に関係があることを知っていますか。

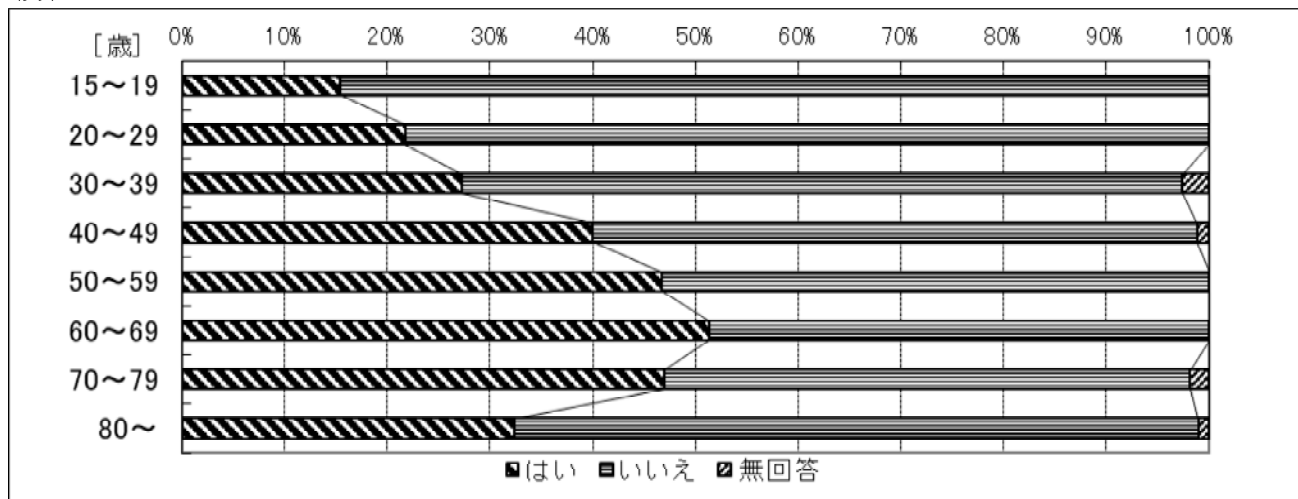
- 歯周病と糖尿病の関係についての認知度は、全体で 46.9%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69 歳の年齢階級で 58.4%と最も高く、15～19 歳で 18.9%と最も低かった。
- 男性では、60～69 歳で 51.3%と最も高く、15～19 歳で 15.4%と最も低かった。
- 女性では、60～69 歳で 63.6%と最も高く、15～19 歳で 22.0%と最も低かった。

表 2—24 歯周病と糖尿病に関する関係についての認知度

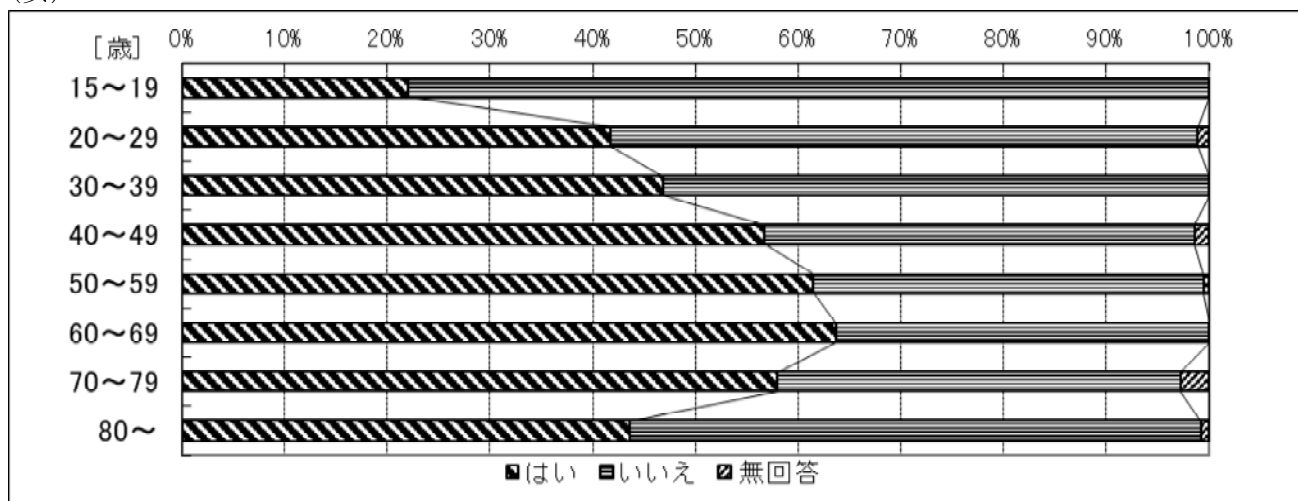
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	8 (15.4)	15 (21.7)	21 (27.3)	34 (40.0)	49 (46.7)	58 (51.3)	76 (46.9)	32 (32.3)	293 (38.5)
	いいえ	44 (84.6)	54 (78.3)	54 (70.1)	50 (58.8)	56 (53.3)	55 (48.7)	83 (51.2)	66 (66.7)	462 (60.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.9)	1 (1.0)	7 (0.9)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	13 (22.0)	38 (41.8)	52 (46.8)	80 (56.7)	118 (61.5)	98 (63.6)	105 (58.0)	58 (43.6)	562 (52.9)
	いいえ	46 (78.0)	52 (57.1)	59 (53.2)	59 (41.8)	73 (38.0)	56 (36.4)	71 (39.2)	74 (55.6)	490 (46.1)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	1 (0.8)	10 (0.9)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	21 (18.9)	53 (33.1)	73 (38.8)	114 (50.4)	167 (56.2)	156 (58.4)	181 (52.8)	90 (38.8)	855 (46.9)
	いいえ	90 (81.1)	106 (66.3)	113 (60.1)	109 (48.2)	129 (43.4)	111 (41.6)	154 (44.9)	140 (60.3)	952 (52.2)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	8 (2.3)	2 (0.9)	17 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

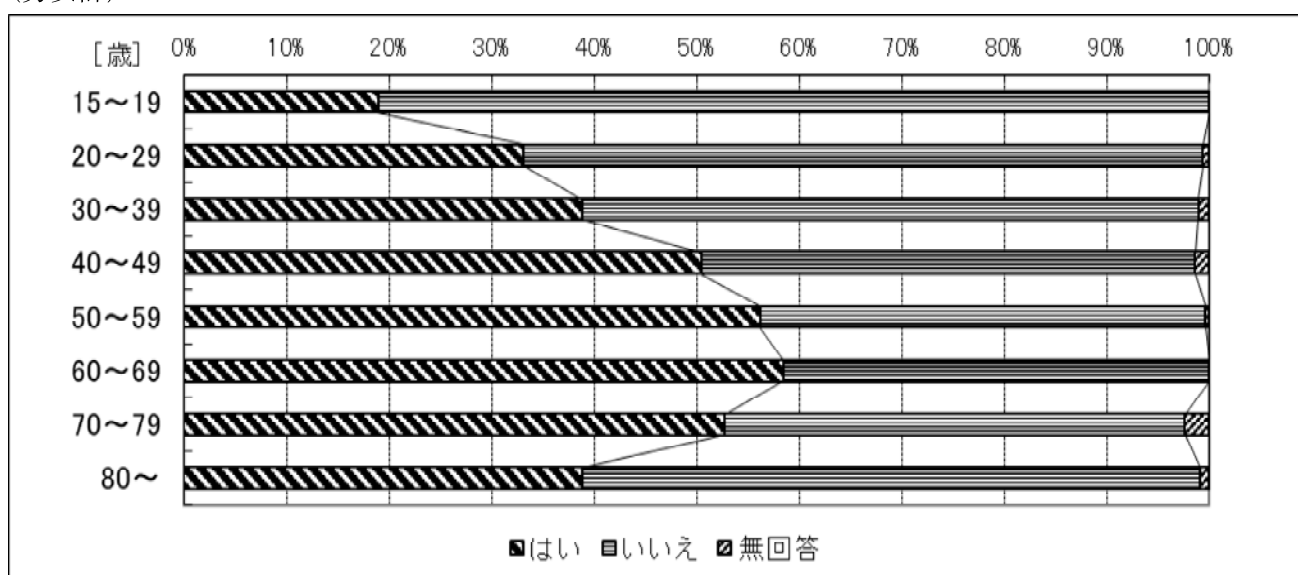


図 2—21 歯周病と糖尿病に関する認知度

問 1 2 喫煙が歯周病に影響が与えることを知っていますか。

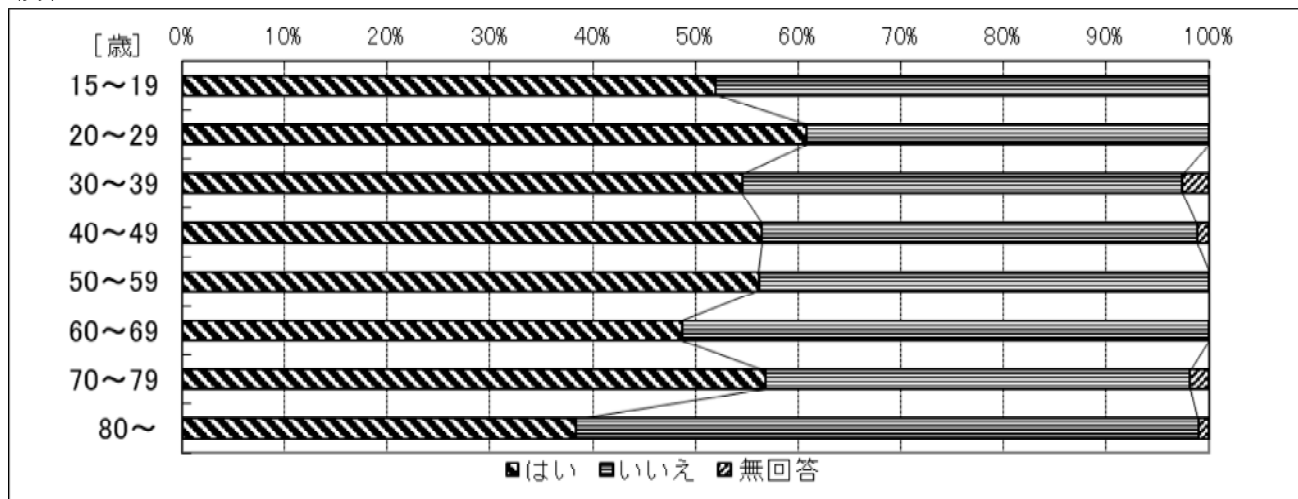
- 喫煙の歯周病に与える影響についての認知度は、全体で 55.8%であった。
- 年齢階級別にみると、20～29 歳の年齢階級で 65.6%と最も高く、80 歳以上で 40.1%と最も低かった。
- 男性では、20～29 歳で 60.9%と最も高く、80 歳以上で 38.4%と最も低かった。
- 女性では、20～29 歳で 69.2%と最も高く、80 歳以上で 41.4%と最も低かった。

表 2—25 喫煙が歯周病に影響についての認知度

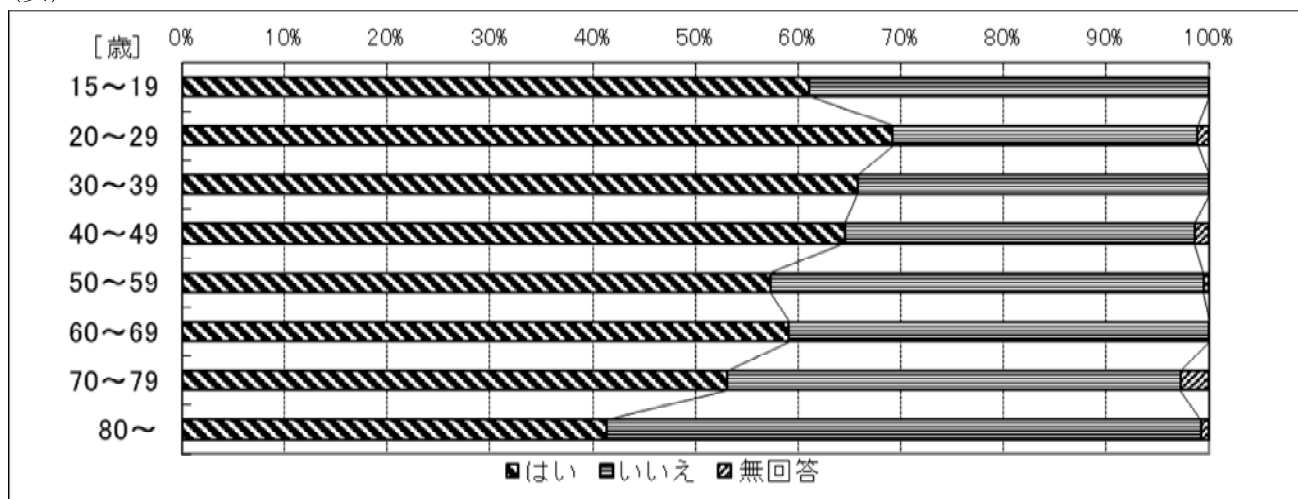
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	27 (51.9)	42 (60.9)	42 (54.5)	48 (56.5)	59 (56.2)	55 (48.7)	92 (56.8)	38 (38.4)	403 (52.9)
	いいえ	25 (48.1)	27 (39.1)	33 (42.9)	36 (42.4)	46 (43.8)	58 (51.3)	67 (41.4)	60 (60.6)	352 (46.2)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.9)	1 (1.0)	7 (0.9)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	36 (61.0)	63 (69.2)	73 (65.8)	91 (64.5)	110 (57.3)	91 (59.1)	96 (53.0)	55 (41.4)	615 (57.9)
	いいえ	23 (39.0)	27 (29.7)	38 (34.2)	48 (34.0)	81 (42.2)	63 (40.9)	80 (44.2)	77 (57.9)	437 (41.1)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	1 (0.8)	10 (0.9)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	63 (56.8)	105 (65.6)	115 (61.2)	139 (61.5)	169 (56.9)	146 (54.7)	188 (54.8)	93 (40.1)	1018 (55.8)
	えいい	48 (43.2)	54 (33.8)	71 (37.8)	84 (37.2)	127 (42.8)	121 (45.3)	147 (42.9)	137 (59.1)	789 (43.3)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	8 (2.3)	2 (0.9)	17 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

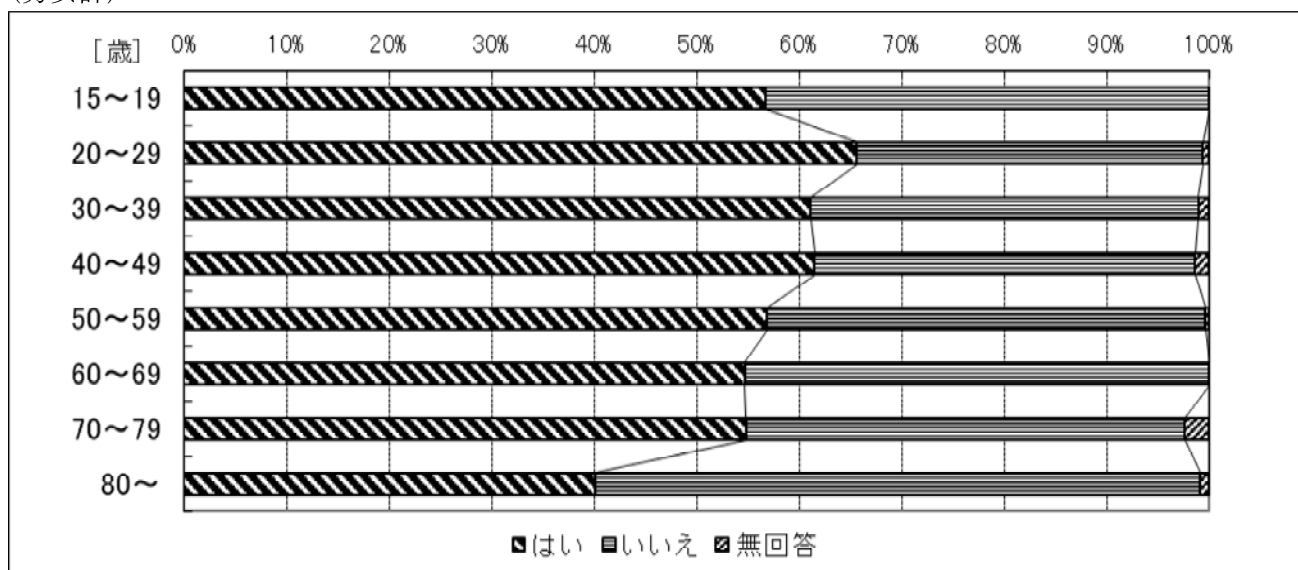


図 2—22 喫煙が歯周病に影響についての認知度

問13 口の中をきれいに保つことで、肺炎を予防することができることを知っていますか。

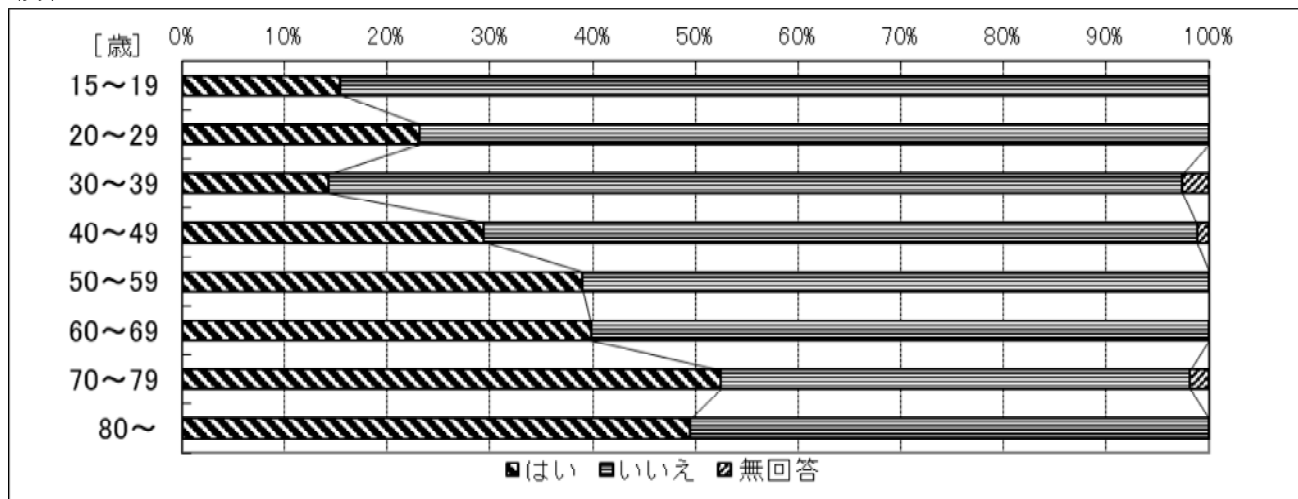
- 口の中をきれいに保つことが肺炎予防につながることについての認知度は、全体で47.2%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で59.2%と最も高く、15～19歳で23.4%と最も低かった。
- 男性では、70～79歳で52.5%と最も高く、30～39歳で14.3%と最も低かった。
- 女性では、60～69歳で69.5%と最も高く、15～19歳で30.5%と最も低かった。

表2—26 口の中をきれいに保つことが肺炎予防につながることについての認知度

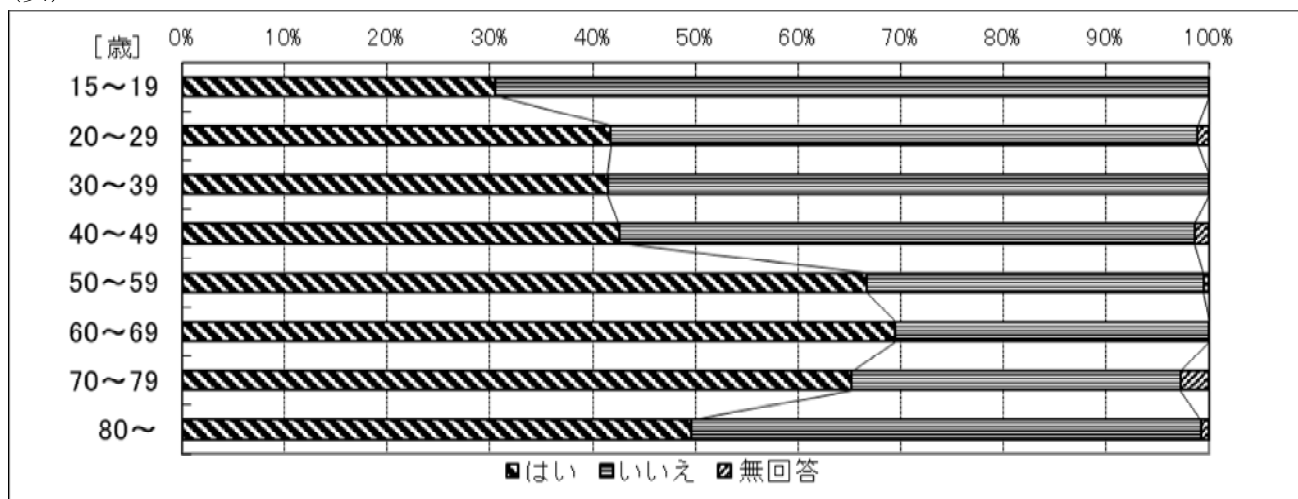
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	8 (15.4)	16 (23.2)	11 (14.3)	25 (29.4)	41 (39.0)	45 (39.8)	85 (52.5)	49 (49.5)	280 (36.7)
	いいえ	44 (84.6)	53 (76.8)	64 (83.1)	59 (69.4)	64 (61.0)	68 (60.2)	74 (45.7)	50 (50.5)	476 (62.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.9)	0 (0.0)	6 (0.8)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	18 (30.5)	38 (41.8)	46 (41.4)	60 (42.6)	128 (66.7)	107 (69.5)	118 (65.2)	66 (49.6)	581 (54.7)
	いいえ	41 (69.5)	52 (57.1)	65 (58.6)	79 (56.0)	63 (32.8)	47 (30.5)	58 (32.0)	66 (49.6)	471 (44.4)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	1 (0.8)	10 (0.9)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	26 (23.4)	54 (33.8)	57 (30.3)	85 (37.6)	169 (56.9)	152 (56.9)	203 (59.2)	115 (49.6)	861 (47.2)
	いいえ	85 (76.6)	105 (65.6)	129 (68.6)	138 (61.1)	127 (42.8)	115 (43.1)	132 (38.5)	116 (50.0)	947 (51.9)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	8 (2.3)	1 (0.4)	16 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

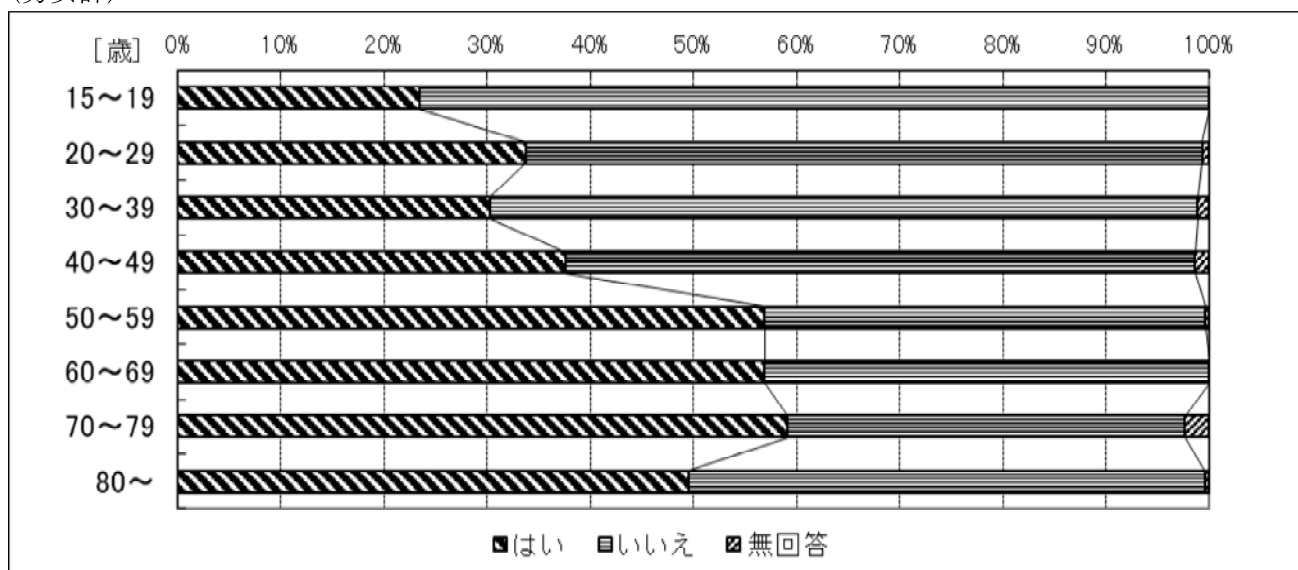


図 2—23 口の中をきれいに保つことが肺炎予防につながるについての認知度



問14 病気で手術をする際、手術前後に口腔ケアを行うことで術後の合併症の発生を少なくする効果があることを知っていますか。

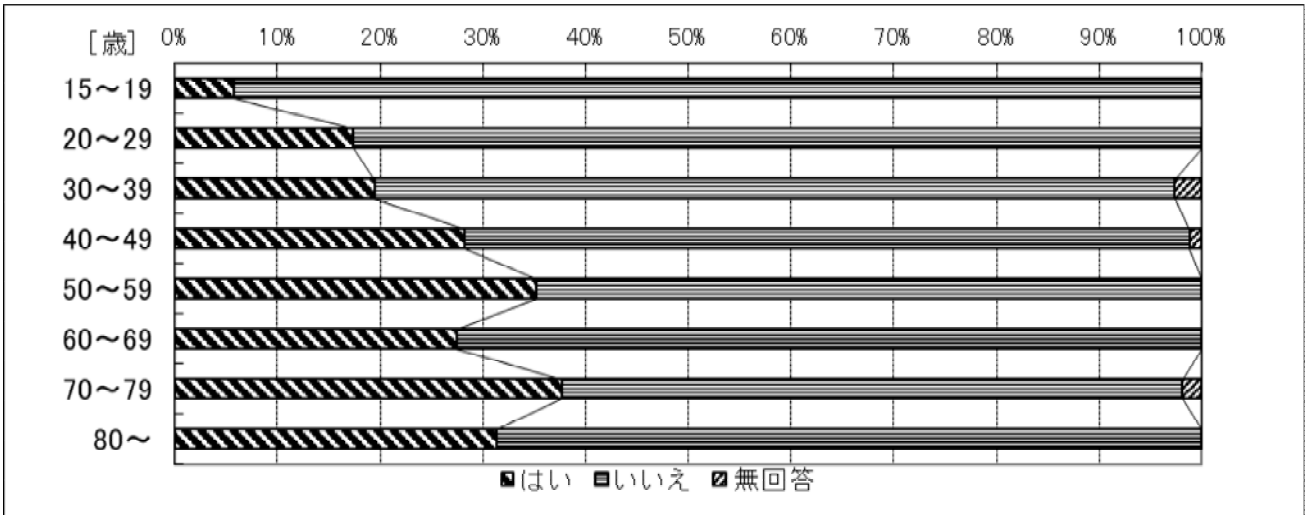
- ▶ 病気で手術をする際、手術前後に口腔ケアを行うことで術後の合併症の発生を少なくする効果があることについての認知度は、全体で36.4%であった。
- ▶ 年齢階級別にみると、50～59歳の年齢階級で45.1%と最も高く、15～19歳で9.0%と最も低かった。
- ▶ 男性では、70～79歳で37.7%と最も高く、15～19歳で5.8%と最も低かった。
- ▶ 女性では、60～69歳で55.2%と最も高く、15～19歳で11.9%と最も低かった。

表2-27 手術前後に口腔ケアを行うことで術後の合併症の発生を少なくする効果があることについての認知度

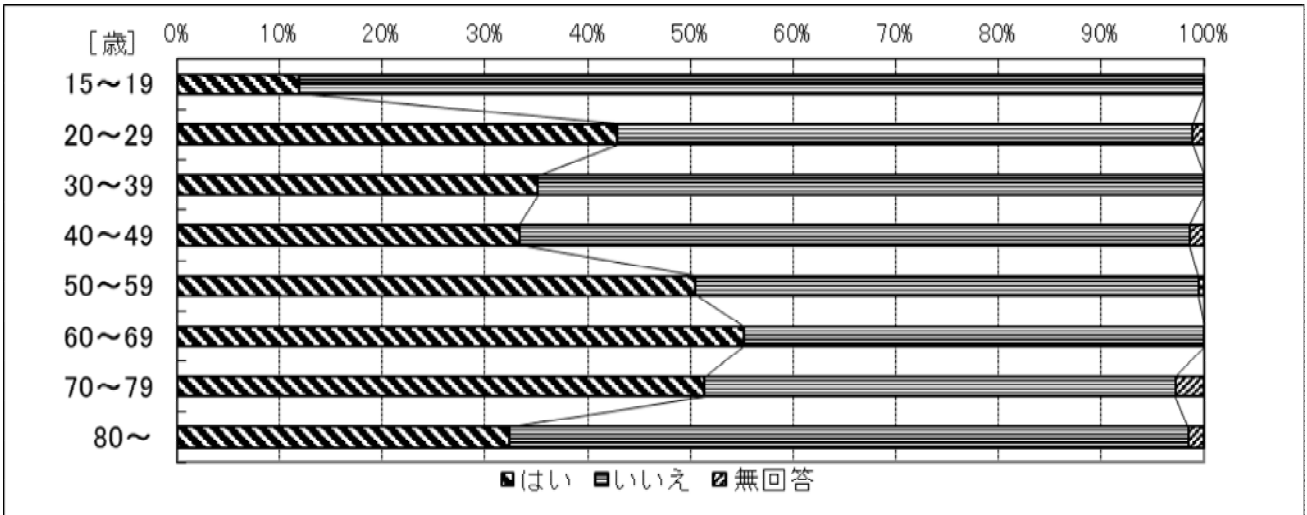
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	3 (5.8)	12 (17.4)	15 (19.5)	24 (28.2)	37 (35.2)	31 (27.4)	61 (37.7)	31 (31.3)	214 (28.1)
	いいえ	49 (94.2)	57 (82.6)	60 (77.9)	60 (70.6)	68 (64.8)	82 (72.6)	98 (60.5)	68 (68.7)	542 (71.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.9)	0 (0.0)	6 (0.8)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	7 (11.9)	39 (42.9)	39 (35.1)	47 (33.3)	97 (50.5)	85 (55.2)	93 (51.4)	43 (32.3)	450 (42.4)
	いいえ	52 (88.1)	51 (56.0)	72 (64.9)	92 (65.2)	94 (49.0)	69 (44.8)	83 (45.9)	88 (66.2)	601 (56.6)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.8)	2 (1.5)	11 (1.0)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	10 (9.0)	51 (31.9)	54 (28.7)	71 (31.4)	134 (45.1)	116 (43.4)	154 (44.9)	74 (31.9)	664 (36.4)
	いいえ	101 (91.0)	108 (67.5)	132 (70.2)	152 (67.3)	162 (54.5)	151 (56.6)	181 (52.8)	156 (67.2)	1143 (62.7)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (1.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	8 (2.3)	2 (0.9)	17 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

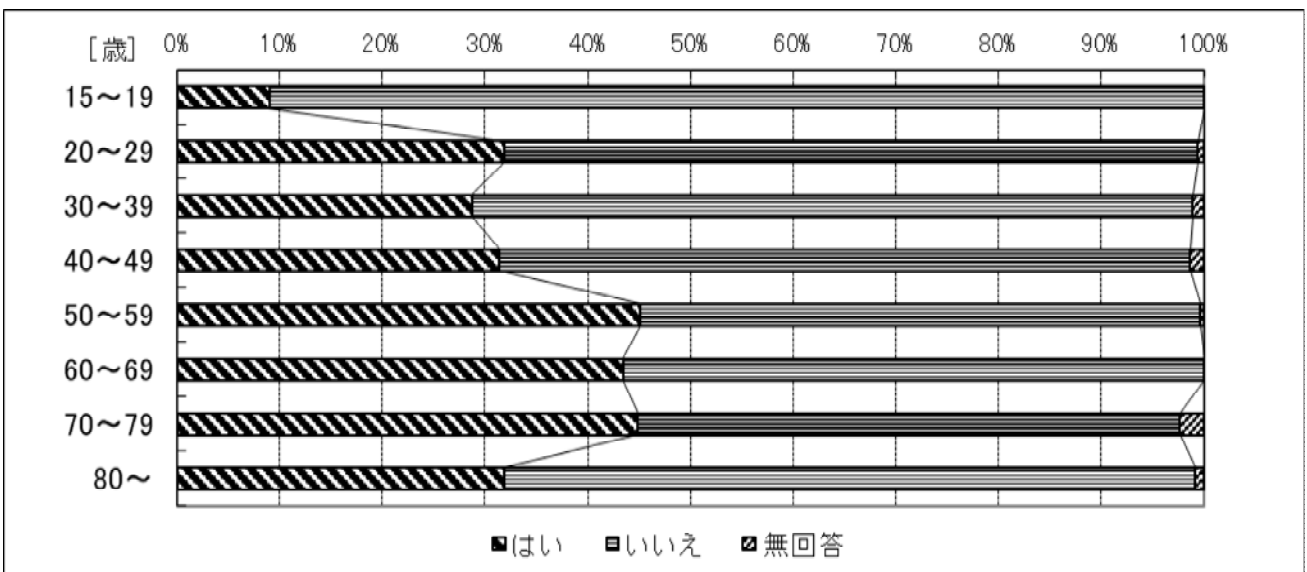


図 2—24 手術前後に口腔ケアを行うことで術後の合併症の発生を少なくする効果があることについての認知度

問15 ゆっくりよく噛んで食事をしていますか。

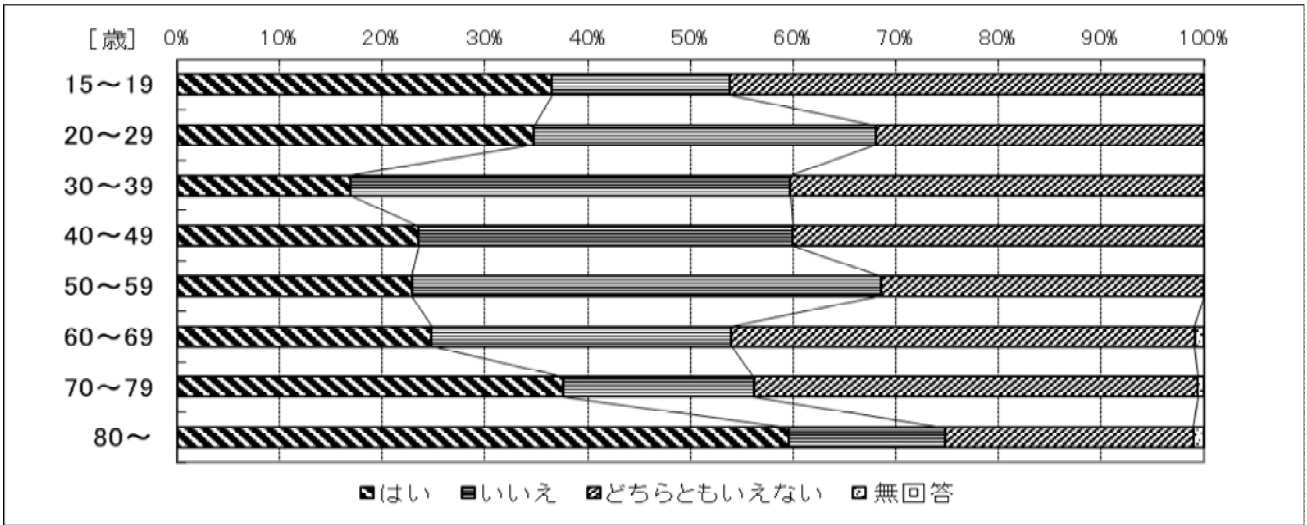
- ゆっくり良く噛んで食事をしている人は、全体で 34.4%であった。
- 年齢階級別にみると、80歳以上の年齢階級で 57.8%と最も高く、40～49歳で 22.1%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で 59.6%と最も高く、30～39歳で 16.9%と最も低かった。
- 女性では、80歳以上で 56.4%と最も高く、40～49歳で 21.3%と最も低かった。

表2-28 ゆっくりよく噛んで食事をしている人の状況

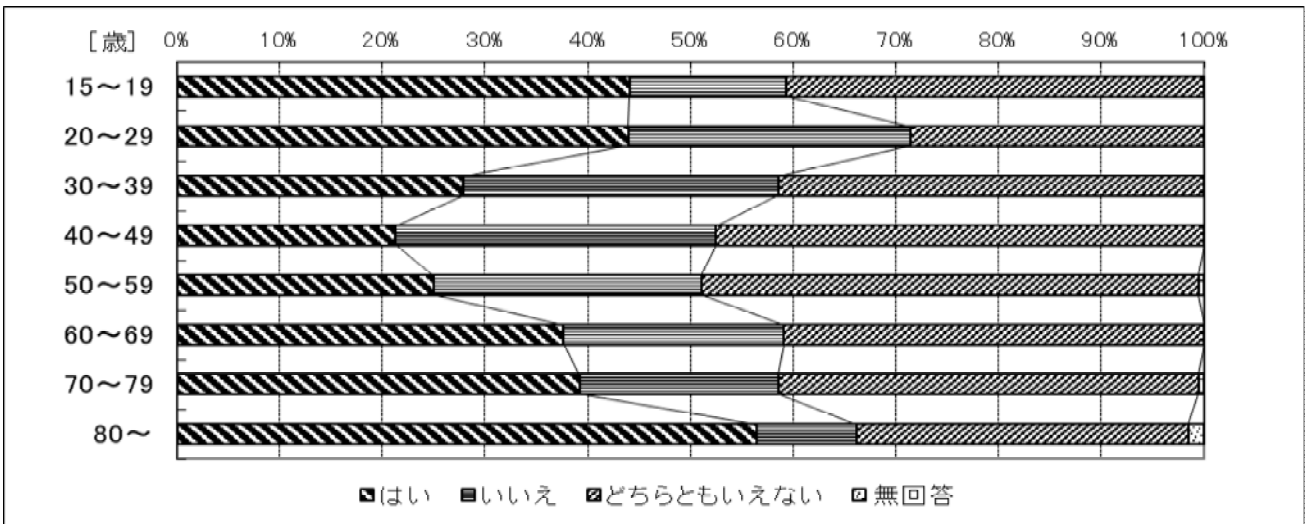
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	19 (36.5)	24 (34.8)	13 (16.9)	20 (23.5)	24 (22.9)	28 (24.8)	61 (37.7)	59 (59.6)	248 (32.5)
	いいえ	9 (17.3)	23 (33.3)	33 (42.9)	31 (36.5)	48 (45.7)	33 (29.2)	30 (18.5)	15 (15.2)	222 (29.1)
	どちらとも いけない	24 (46.2)	22 (31.9)	31 (40.3)	34 (40.0)	33 (31.4)	51 (45.1)	70 (43.2)	24 (24.2)	289 (37.9)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.6)	1 (1.0)	3 (0.4)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	26 (44.1)	40 (44.0)	31 (27.9)	30 (21.3)	48 (25.0)	58 (37.7)	71 (39.2)	75 (56.4)	379 (35.7)
	いいえ	9 (15.3)	25 (27.5)	34 (30.6)	44 (31.2)	50 (26.0)	33 (21.4)	35 (19.3)	13 (9.8)	243 (22.9)
	どちらとも いけない	24 (40.7)	26 (28.6)	46 (41.4)	67 (47.5)	93 (48.4)	63 (40.9)	74 (40.9)	43 (32.3)	436 (41.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.5)	4 (0.4)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	45 (40.5)	64 (40.0)	44 (23.4)	50 (22.1)	72 (24.2)	86 (32.2)	132 (38.5)	134 (57.8)	627 (34.4)
	いいえ	18 (16.2)	48 (30.0)	67 (35.6)	75 (33.2)	98 (33.0)	66 (24.7)	65 (19.0)	28 (12.1)	465 (25.5)
	どちらとも いけない	48 (43.2)	48 (30.0)	77 (41.0)	101 (44.7)	126 (42.4)	114 (42.7)	144 (42.0)	67 (28.9)	725 (39.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	1 (0.4)	2 (0.6)	3 (1.3)	7 (0.4)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

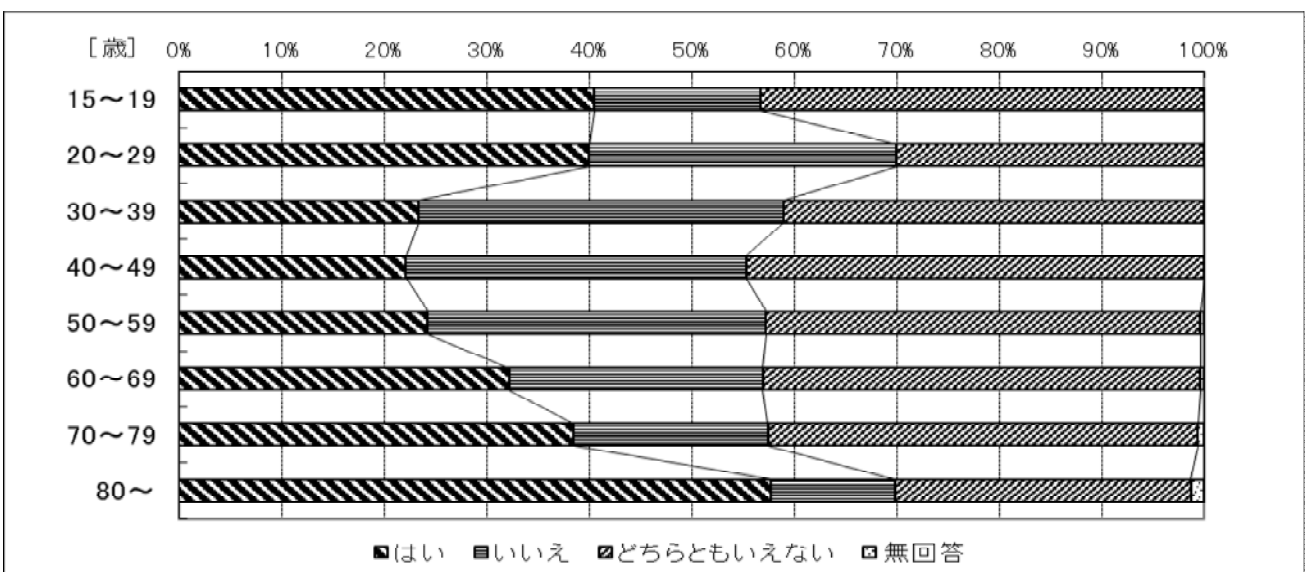


図 2—25 ゆっくりよく噛んで食事をしている人の状況

問16 口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか

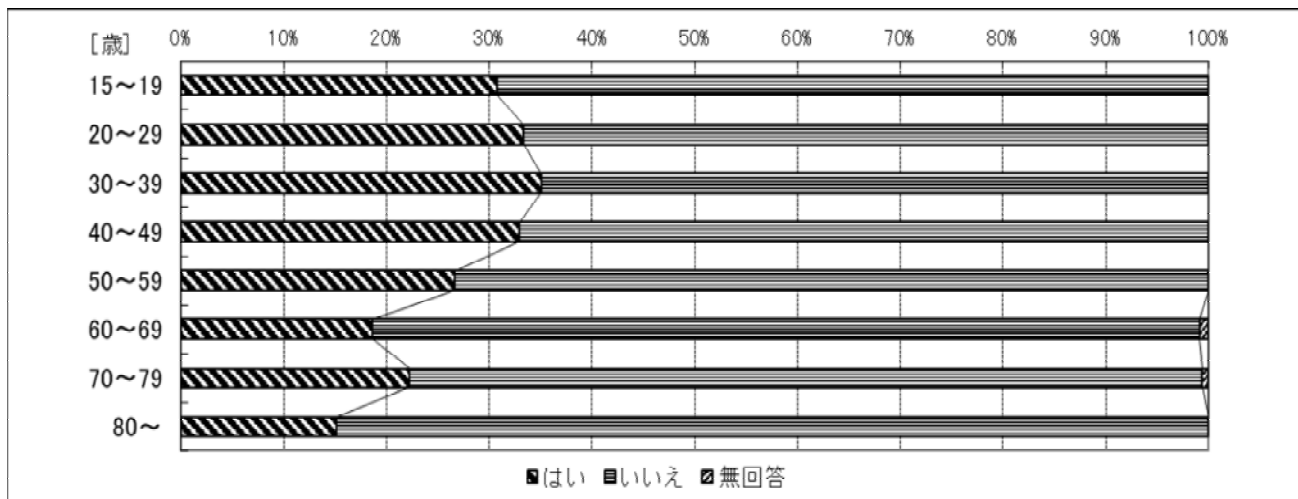
- 口を大きく開け閉めしたときあごの音がする者は、全体の27.3%であった。
- 年齢階級別にみると、30～39歳の年齢階級で39.9%と最も高く、80歳以上で10.8%と最も低かった。
- 男性では、30～39歳で35.1%と最も高く、80歳以上で15.2%と最も低かった。
- 女性では、30～39歳で43.2%と最も高く、80歳以上で7.5%と最も低かった。

表2-29 あごの音の状況

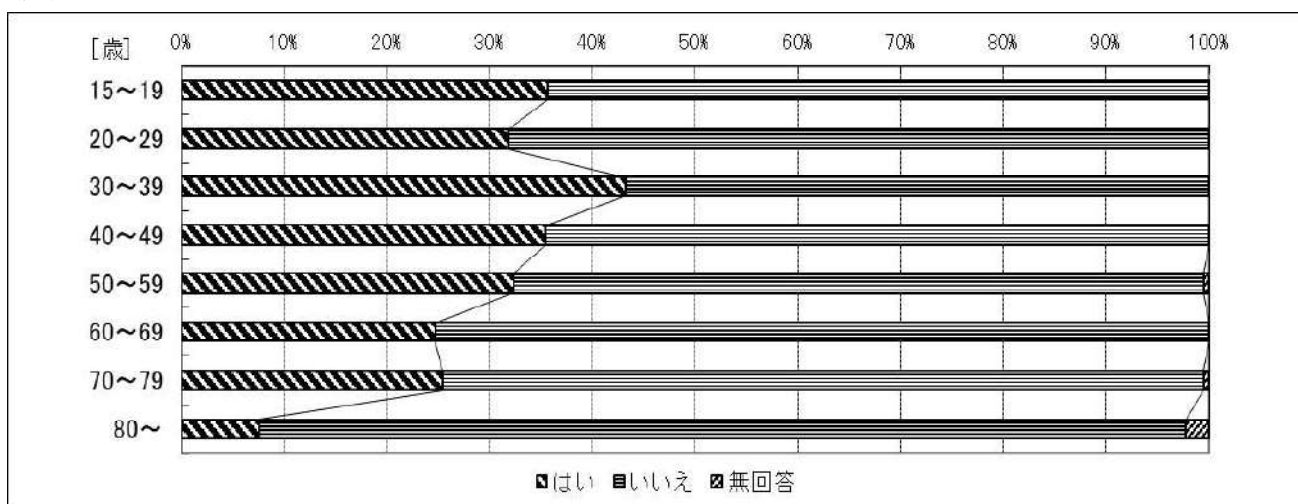
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	16 (30.8)	23 (33.3)	27 (35.1)	28 (32.9)	28 (26.7)	21 (18.6)	36 (22.2)	15 (15.2)	194 (25.5)
	いいえ	36 (69.2)	46 (66.7)	50 (64.9)	57 (67.1)	77 (73.3)	91 (80.5)	125 (77.2)	84 (84.8)	566 (74.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.6)	0 (0.0)	2 (0.3)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	21 (35.6)	29 (31.9)	48 (43.2)	50 (35.5)	62 (32.3)	38 (24.7)	46 (25.4)	10 (7.5)	304 (28.6)
	いいえ	38 (64.4)	62 (68.1)	63 (56.8)	91 (64.5)	129 (67.2)	116 (75.3)	134 (74.0)	120 (90.2)	753 (70.9)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.6)	3 (2.3)	5 (0.5)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	37 (33.3)	52 (32.5)	75 (39.9)	78 (34.5)	90 (30.3)	59 (22.1)	82 (23.9)	25 (10.8)	498 (27.3)
	いいえ	74 (66.7)	108 (67.5)	113 (60.1)	148 (65.5)	206 (69.4)	207 (77.5)	259 (75.5)	204 (87.9)	1319 (72.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	1 (0.4)	2 (0.6)	3 (1.3)	7 (0.4)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

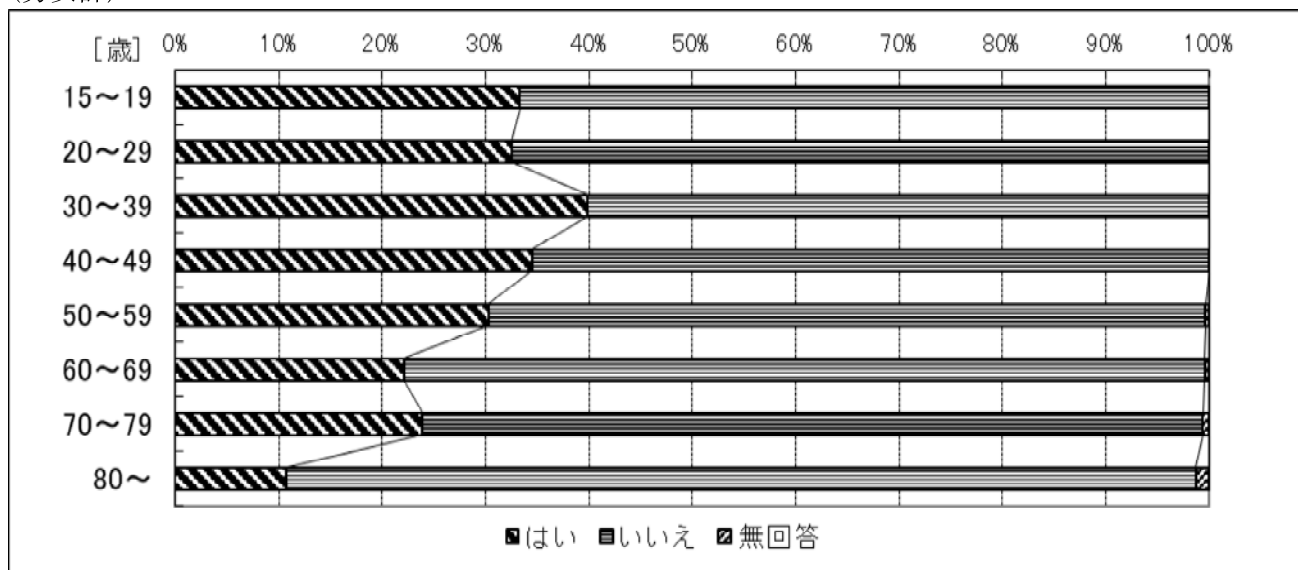


図 2—26 あごの音の状況

問17 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか。

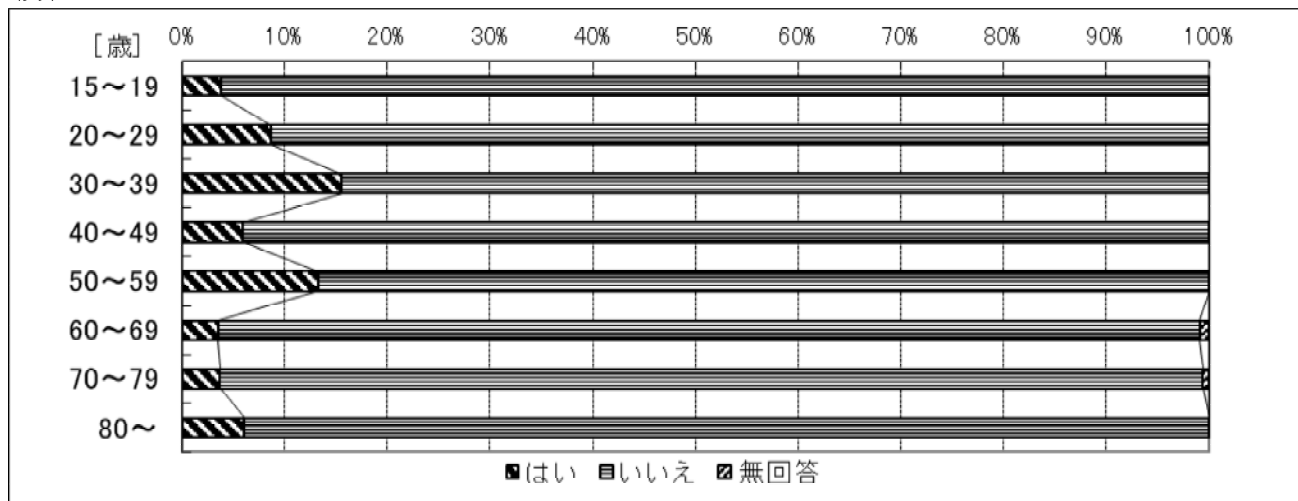
- 口を大きく開け閉めしたときあごの痛みがある者は、全体の7.6%であった。
- 年齢階級別にみると、30～39歳の年齢階級で12.8%と最も高く、80歳以上で3.0%と最も低かった。
- 男性では、30～39歳で15.6%と最も高く、60～69歳で3.5%と最も低かった。
- 女性では、20～29歳で13.2%と最も高く、80歳以上で0.8%と最も低かった。

表2—30 あごの痛みの状況

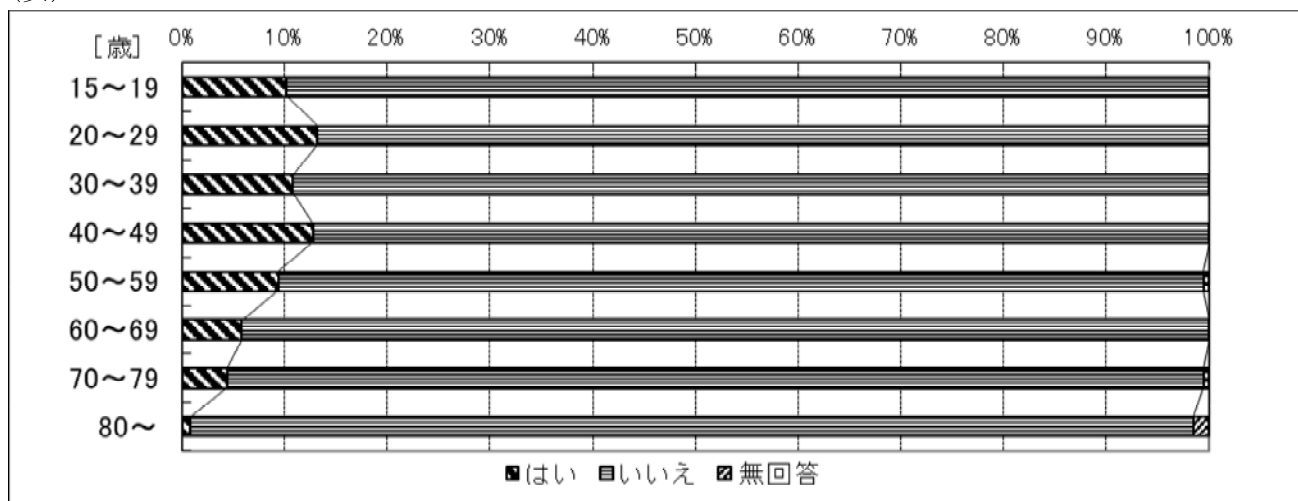
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	2 (3.8)	6 (8.7)	12 (15.6)	5 (5.9)	14 (13.3)	4 (3.5)	6 (3.7)	6 (6.1)	55 (7.2)
	いいえ	50 (96.2)	63 (91.3)	65 (84.4)	80 (94.1)	91 (86.7)	108 (95.6)	155 (95.7)	93 (93.9)	705 (92.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.6)	0 (0.0)	2 (0.3)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	6 (10.2)	12 (13.2)	12 (10.8)	18 (12.8)	18 (9.4)	9 (5.8)	8 (4.4)	1 (0.8)	84 (7.9)
	いいえ	53 (89.8)	79 (86.8)	99 (89.2)	123 (87.2)	173 (90.1)	145 (94.2)	172 (95.0)	130 (97.7)	974 (91.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.5)	4 (0.4)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	8 (7.2)	18 (11.3)	24 (12.8)	23 (10.2)	32 (10.8)	13 (4.9)	14 (4.1)	7 (3.0)	139 (7.6)
	いいえ	103 (92.8)	142 (88.8)	164 (87.2)	203 (89.8)	264 (88.9)	253 (94.8)	327 (95.3)	223 (96.1)	1679 (92.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	1 (0.4)	2 (0.6)	2 (0.9)	6 (0.3)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

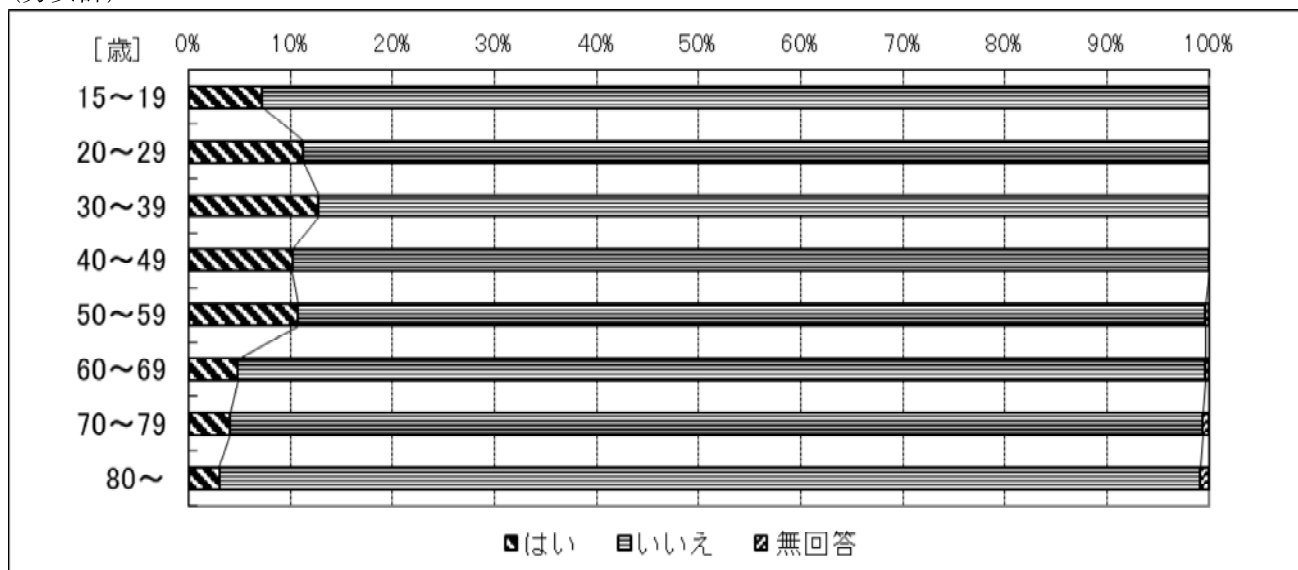


表 2—27 あごの痛みの状況



問18 現在、歯の数はどのくらいありますか。(親知らずは含みません。「けずってつめた歯」や「さし歯」も自分の歯として数えます。)

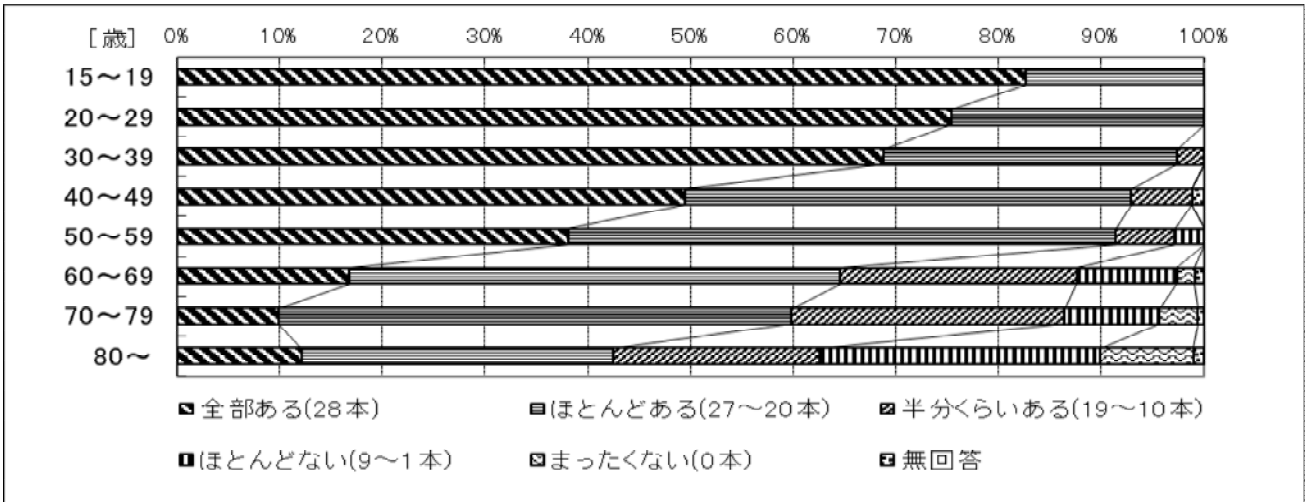
- 全部ある(28本)と回答した者が39.7%、ほとんどある(27~20本)と回答した者が40.6%、半分くらいある(19~10本)と回答した者が11.1%であった。
- 年齢階級別にみると、70~79歳では、全部ある・ほとんどあると回答した者の合計は62.9%であるのに対して、ほとんどない(9~1本)・全くない(0本)と回答した者の合計は13.7%であった。
- また、80歳以上では、全部ある・ほとんどあると回答した者の合計は43.1%であるのに対して、ほとんどない・全くないと回答した者の合計は31.5%であった。

表 2—31 現在歯数の状況

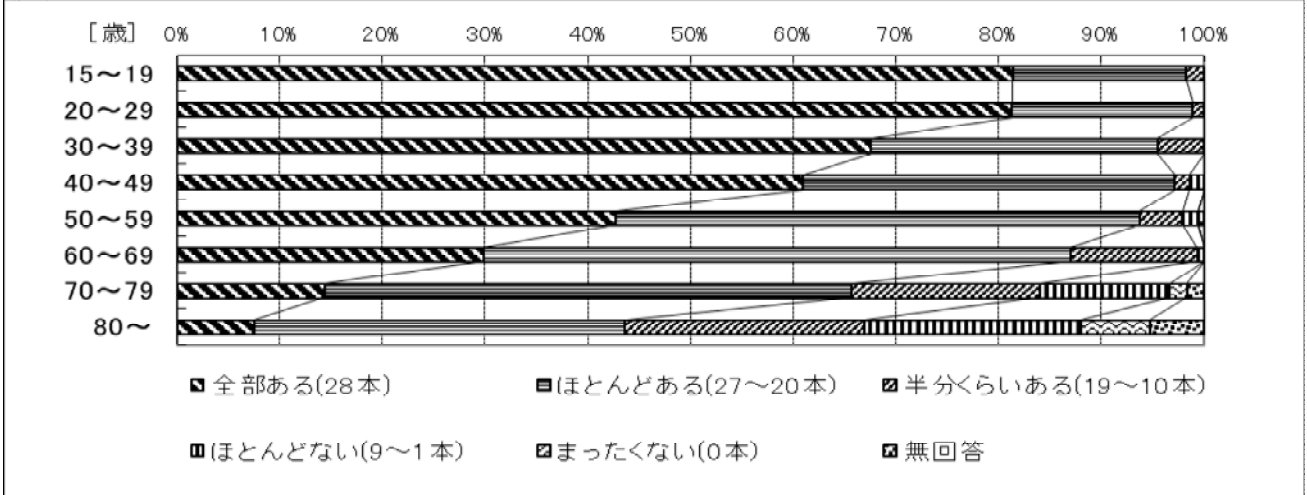
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	全部ある (28本)	43 (82.7)	52 (75.4)	53 (68.8)	42 (49.4)	40 (38.1)	19 (16.8)	16 (9.9)	12 (12.1)	277 (36.4)
	ほとんどある (27～20本)	9 (17.3)	17 (24.6)	22 (28.6)	37 (43.5)	56 (53.3)	54 (47.8)	81 (50.0)	30 (30.3)	306 (40.2)
	半分くらいある (19～10本)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	5 (5.9)	6 (5.7)	26 (23.0)	43 (26.5)	20 (20.2)	102 (13.4)
	ほとんどない (9～1本)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.9)	11 (9.7)	15 (9.3)	27 (27.3)	56 (7.3)
	まったくない (0本)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.8)	6 (3.7)	9 (9.1)	17 (2.2)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.6)	1 (1.0)	4 (0.5)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	全部ある (28本)	48 (81.4)	74 (81.3)	75 (67.6)	86 (61.0)	82 (42.7)	46 (29.9)	26 (14.4)	10 (7.5)	447 (42.1)
	ほとんどある (27～20本)	10 (16.9)	16 (17.6)	31 (27.9)	51 (36.2)	98 (51.0)	88 (57.1)	93 (51.4)	48 (36.1)	435 (41.0)
	半分くらいある (19～10本)	1 (1.7)	1 (1.1)	5 (4.5)	2 (1.4)	8 (4.2)	19 (12.3)	33 (18.2)	31 (23.3)	100 (9.4)
	ほとんどない (9～1本)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	3 (1.6)	1 (0.6)	23 (12.7)	28 (21.1)	57 (5.4)
	まったくない (0本)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.7)	9 (6.8)	12 (1.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	3 (1.7)	7 (5.3)	11 (1.0)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	全部ある (28本)	91 (82.0)	126 (78.8)	128 (68.1)	128 (56.6)	122 (41.1)	65 (24.3)	42 (12.2)	22 (9.5)	724 (39.7)
	ほとんどある (27～20本)	19 (17.1)	33 (20.6)	53 (28.2)	88 (38.9)	154 (51.9)	142 (53.2)	174 (50.7)	78 (33.6)	741 (40.6)
	半分くらいある (19～10本)	1 (0.9)	1 (0.6)	7 (3.7)	7 (3.1)	14 (4.7)	45 (16.9)	76 (22.2)	51 (22.0)	202 (11.1)
	ほとんどない (9～1本)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.9)	6 (2.0)	12 (4.5)	38 (11.1)	55 (23.7)	113 (6.2)
	まったくない (0本)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)	9 (2.6)	18 (7.8)	29 (1.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	1 (0.3)	1 (0.4)	4 (1.2)	8 (3.4)	15 (0.8)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

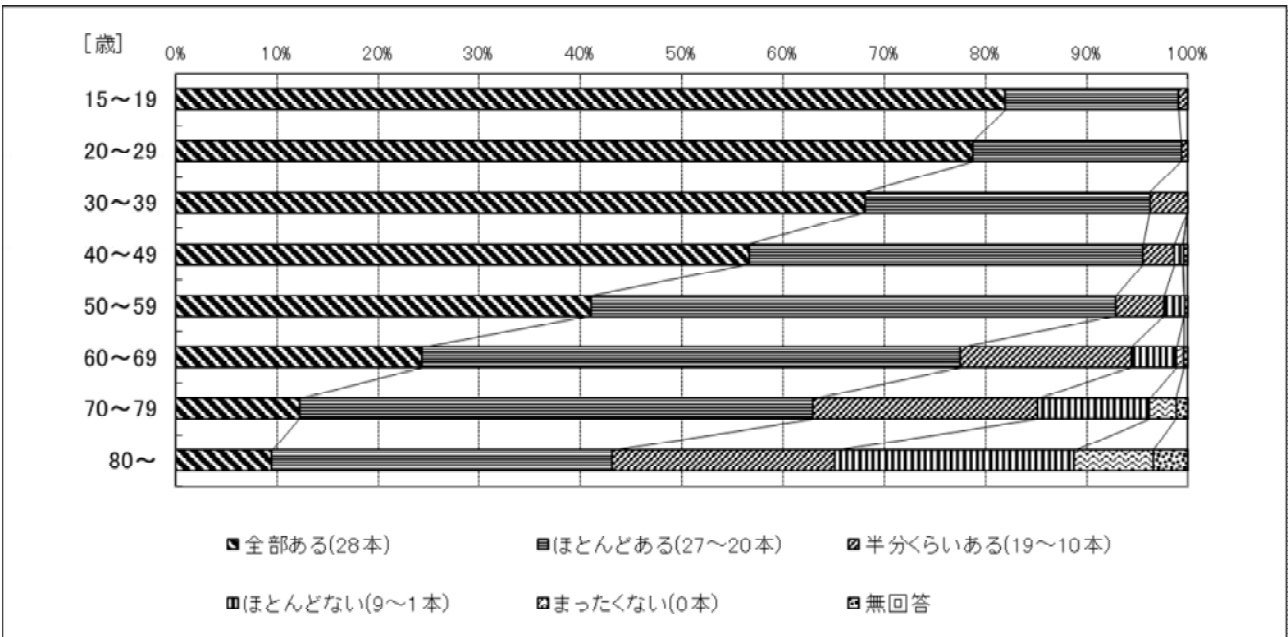


図 2—28 現在歯数の状況

問19 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(1) 8020 (ハチマルニイマル) 運動

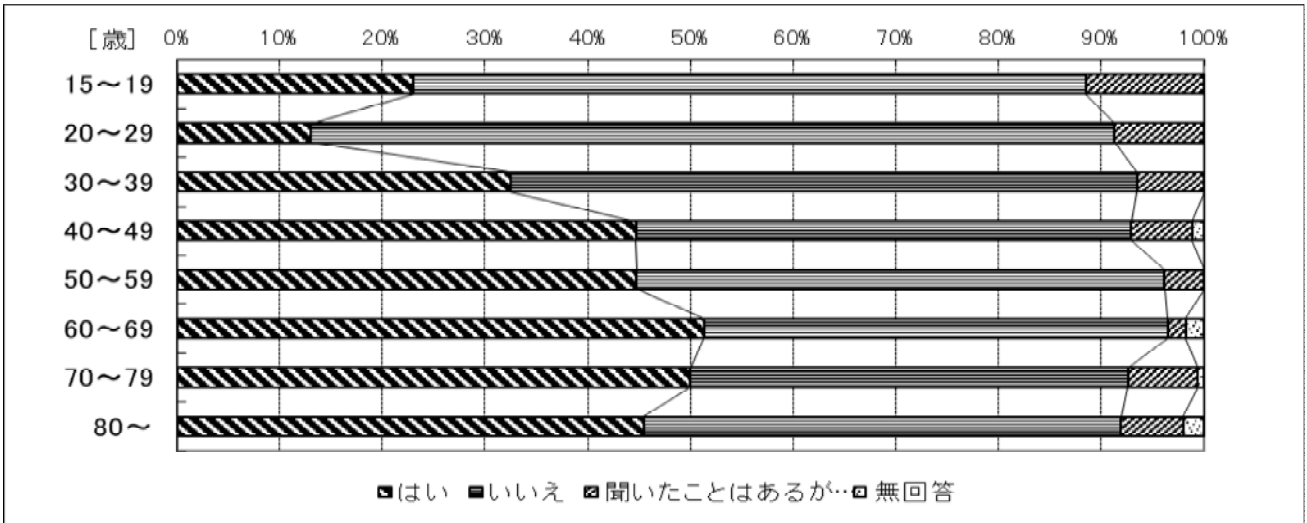
- 「8020運動」という語句を知っている者は、全体の52.6%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳の年齢階級で67.8%と最も高く、20～29歳で32.5%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で51.3%と最も高く、20～29歳で13.0%と最も低かった。
- 女性では、60～69歳で79.9%と最も高く、15～19歳で45.8%と最も低かった。

表2—32 歯科保健に関する語句の認知度(8020運動)

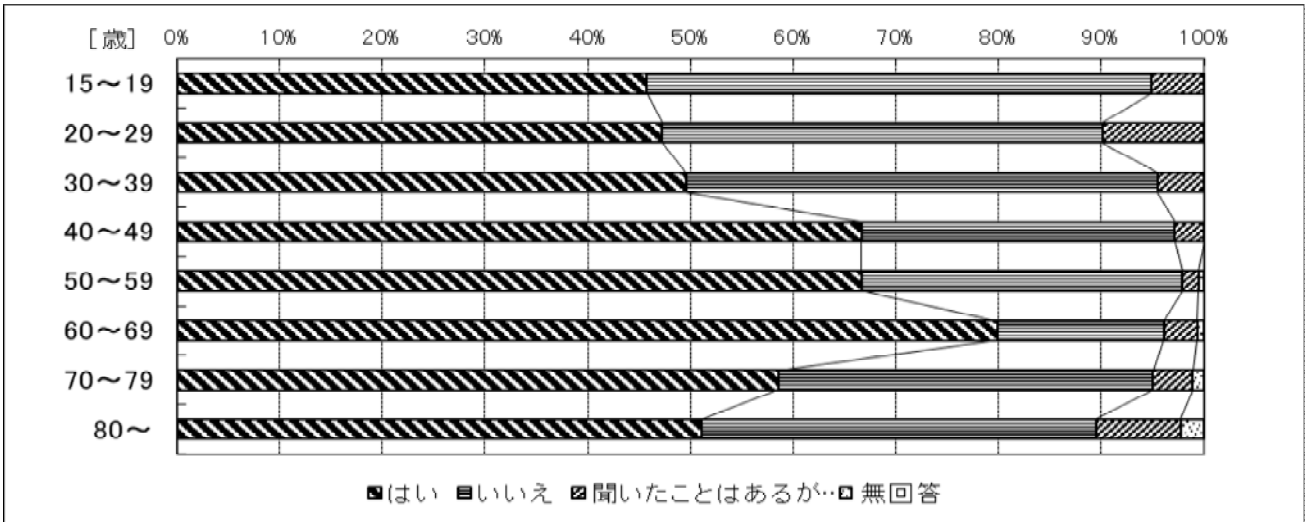
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	12 (23.1)	9 (13.0)	25 (32.5)	38 (44.7)	47 (44.8)	58 (51.3)	81 (50.0)	45 (45.5)	315 (41.3)
	いいえ	34 (65.4)	54 (78.3)	47 (61.0)	41 (48.2)	54 (51.4)	51 (45.1)	69 (42.6)	46 (46.5)	396 (52.0)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	6 (11.5)	6 (8.7)	5 (6.5)	5 (5.9)	4 (3.8)	2 (1.8)	11 (6.8)	6 (6.1)	45 (5.9)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	0 (0.0)	2 (1.8)	1 (0.6)	2 (2.0)	6 (0.8)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	27 (45.8)	43 (47.3)	55 (49.5)	94 (66.7)	128 (66.7)	123 (79.9)	106 (58.6)	68 (51.1)	644 (60.6)
	いいえ	29 (49.2)	39 (42.9)	51 (45.9)	43 (30.5)	60 (31.3)	25 (16.2)	66 (36.5)	51 (38.3)	364 (34.3)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	3 (5.1)	9 (9.9)	5 (4.5)	4 (2.8)	3 (1.6)	5 (3.2)	7 (3.9)	11 (8.3)	47 (4.4)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	1 (0.6)	2 (1.1)	3 (2.3)	7 (0.7)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	39 (35.1)	52 (32.5)	80 (42.6)	132 (58.4)	175 (58.9)	181 (67.8)	187 (54.5)	113 (48.7)	959 (52.6)
	いいえ	63 (56.8)	93 (58.1)	98 (52.1)	84 (37.2)	114 (38.4)	76 (28.5)	135 (39.4)	97 (41.8)	760 (41.7)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	9 (8.1)	15 (9.4)	10 (5.3)	9 (4.0)	7 (2.4)	7 (2.6)	18 (5.2)	17 (7.3)	92 (5.0)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	1 (0.3)	3 (1.1)	3 (0.9)	5 (2.2)	13 (0.7)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

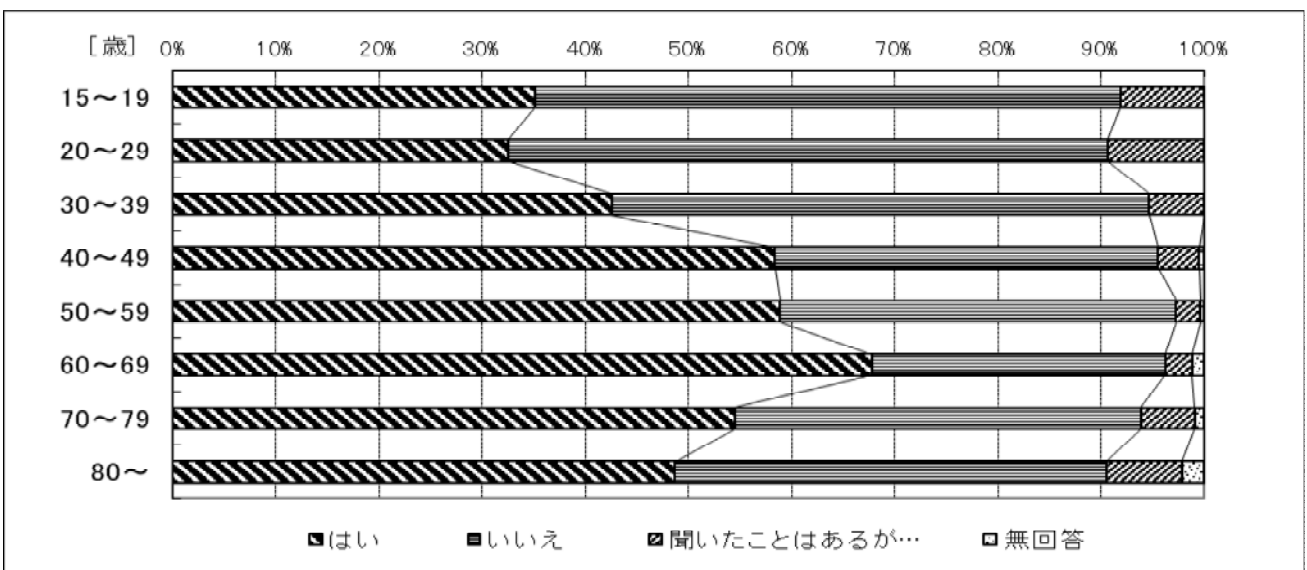


図 2—29 歯科保健に関する語句の認知度(8020 運動)

問19 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(2) 噛ミング30 (サンマル) 運動

- 「噛ミング30運動」という語句を知っている者は、全体の9.4%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で13.7%と最も高く、30～39歳で3.2%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で12.3%と最も高く、20～29歳で0%と最も低かった。
- 女性では、20～29歳で16.5%と最も高く、30～39歳で4.5%と最も低かった。

表2-33 歯科保健に関する語句の認知度(噛ミング30運動)

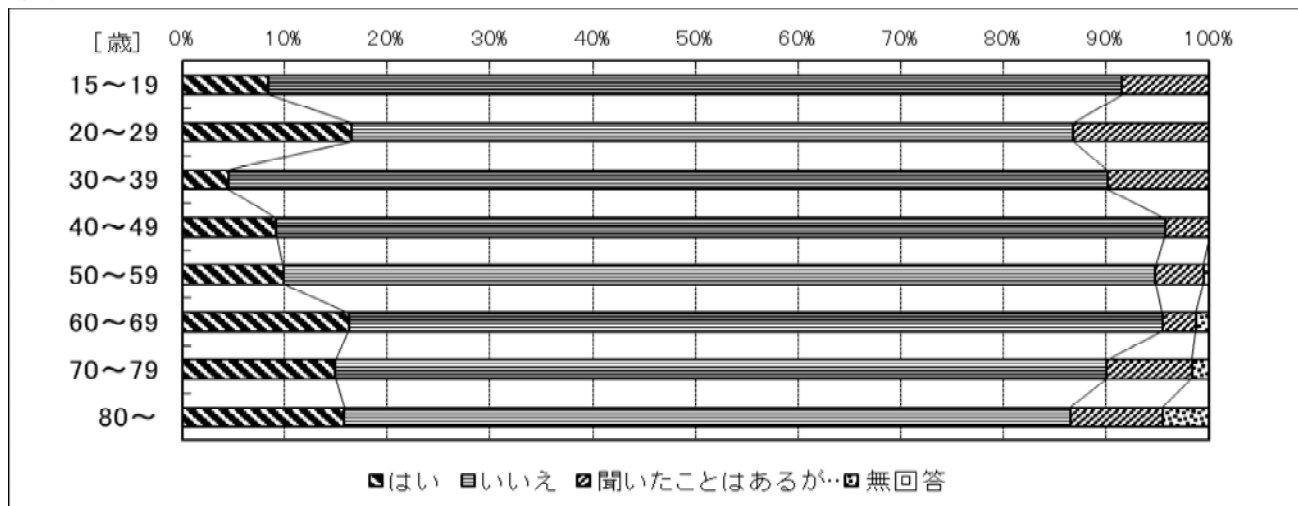
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	1 (1.9)	0 (0.0)	1 (1.3)	7 (8.2)	2 (1.9)	5 (4.4)	20 (12.3)	5 (5.1)	41 (5.4)
	いいえ	47 (90.4)	67 (97.1)	71 (92.2)	75 (88.2)	93 (88.6)	96 (85.0)	124 (76.5)	82 (82.8)	655 (86.0)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	4 (7.7)	2 (2.9)	5 (6.5)	2 (2.4)	10 (9.5)	10 (8.8)	16 (9.9)	9 (9.1)	58 (7.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	0 (0.0)	2 (1.8)	2 (1.2)	3 (3.0)	8 (1.0)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	5 (8.5)	15 (16.5)	5 (4.5)	13 (9.2)	19 (9.9)	25 (16.2)	27 (14.9)	21 (15.8)	130 (12.2)
	いいえ	49 (83.1)	64 (70.3)	95 (85.6)	122 (86.5)	163 (84.9)	122 (79.2)	136 (75.1)	94 (70.7)	845 (79.6)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	5 (8.5)	12 (13.2)	11 (9.9)	6 (4.3)	9 (4.7)	5 (3.2)	15 (8.3)	12 (9.0)	75 (7.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	2 (1.3)	3 (1.7)	6 (4.5)	12 (1.1)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	6 (5.4)	15 (9.4)	6 (3.2)	20 (8.8)	21 (7.1)	30 (11.2)	47 (13.7)	26 (11.2)	171 (9.4)
	いいえ	96 (86.5)	131 (81.9)	166 (88.3)	197 (87.2)	256 (86.2)	218 (81.6)	260 (75.8)	176 (75.9)	1500 (82.2)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	9 (8.1)	14 (8.8)	16 (8.5)	8 (3.5)	19 (6.4)	15 (5.6)	31 (9.0)	21 (9.1)	133 (7.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	1 (0.3)	4 (1.5)	5 (1.5)	9 (3.9)	20 (1.1)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

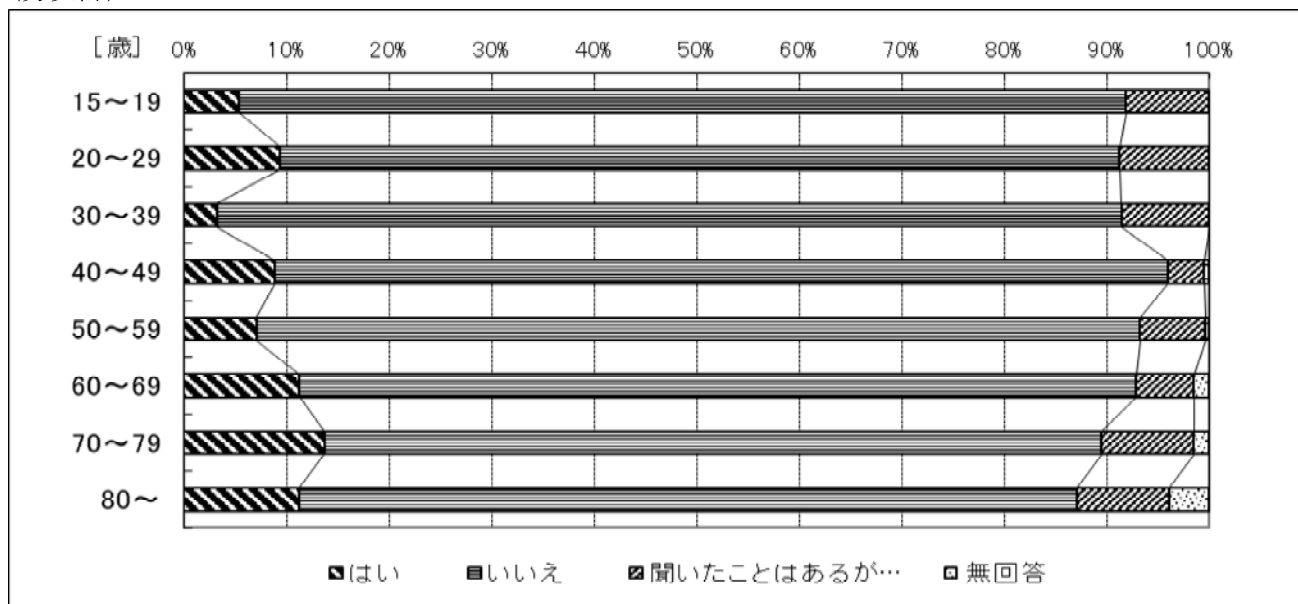


図 2—30 歯科保健に関する語句の認知度(噛ミング30運動)

問19 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(3) オーラルフレイル

- 「オーラルフレイル」という語句を知っている者は、全体の10.9%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳の年齢階級で15.0%と最も高く、15～19歳で5.4%と最も低かった。
- 男性では、40～49歳で10.6%と最も高く、15～19歳で1.9%と最も低かった。
- 女性では、60～69歳で18.8%と最も高く、80歳以上で6.8%と最も低かった。

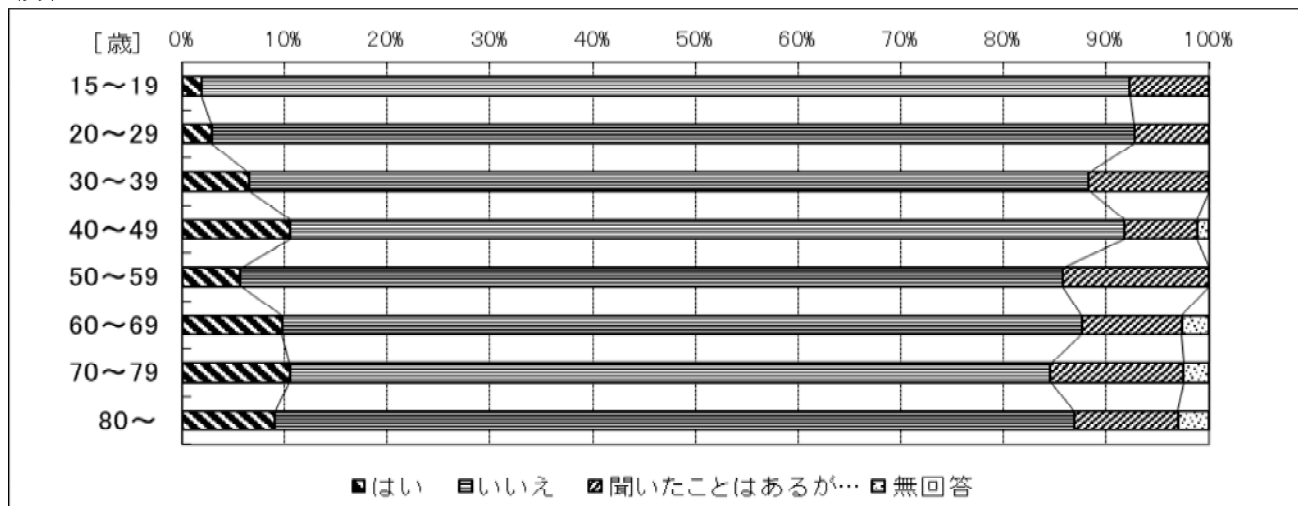
表2—34 歯科保健に関する語句の認知度(オーラルフレイル)

年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	1 (1.9)	2 (2.9)	5 (6.5)	9 (10.6)	6 (5.7)	11 (9.7)	17 (10.5)	9 (9.1)	60 (7.9)
	いいえ	47 (90.4)	62 (89.9)	63 (81.8)	69 (81.2)	84 (80.0)	88 (77.9)	120 (74.1)	77 (77.8)	610 (80.1)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	4 (7.7)	5 (7.2)	9 (11.7)	6 (7.1)	15 (14.3)	11 (9.7)	21 (13.0)	10 (10.1)	81 (10.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	0 (0.0)	3 (2.7)	4 (2.5)	3 (3.0)	11 (1.4)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	5 (8.5)	17 (18.7)	10 (9.0)	20 (14.2)	26 (13.5)	29 (18.8)	22 (12.2)	9 (6.8)	138 (13.0)
	いいえ	46 (78.0)	58 (63.7)	84 (75.7)	100 (70.9)	137 (71.4)	101 (65.6)	120 (66.3)	95 (71.4)	741 (69.8)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	8 (13.6)	16 (17.6)	17 (15.3)	21 (14.9)	27 (14.1)	24 (15.6)	34 (18.8)	20 (15.0)	167 (15.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.0)	0 (0.0)	5 (2.8)	9 (6.8)	16 (1.5)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	6 (5.4)	19 (11.9)	15 (8.0)	29 (12.8)	32 (10.8)	40 (15.0)	39 (11.4)	18 (7.8)	198 (10.9)
	いいえ	93 (83.8)	120 (75.0)	147 (78.2)	169 (74.8)	221 (74.4)	189 (70.8)	240 (70.0)	172 (74.1)	1351 (74.1)
	聞いたことはあるが 意味はわからない	12 (10.8)	21 (13.1)	26 (13.8)	27 (11.9)	42 (14.1)	35 (13.1)	55 (16.0)	30 (12.9)	248 (13.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	2 (0.7)	3 (1.1)	9 (2.6)	12 (5.2)	27 (1.5)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

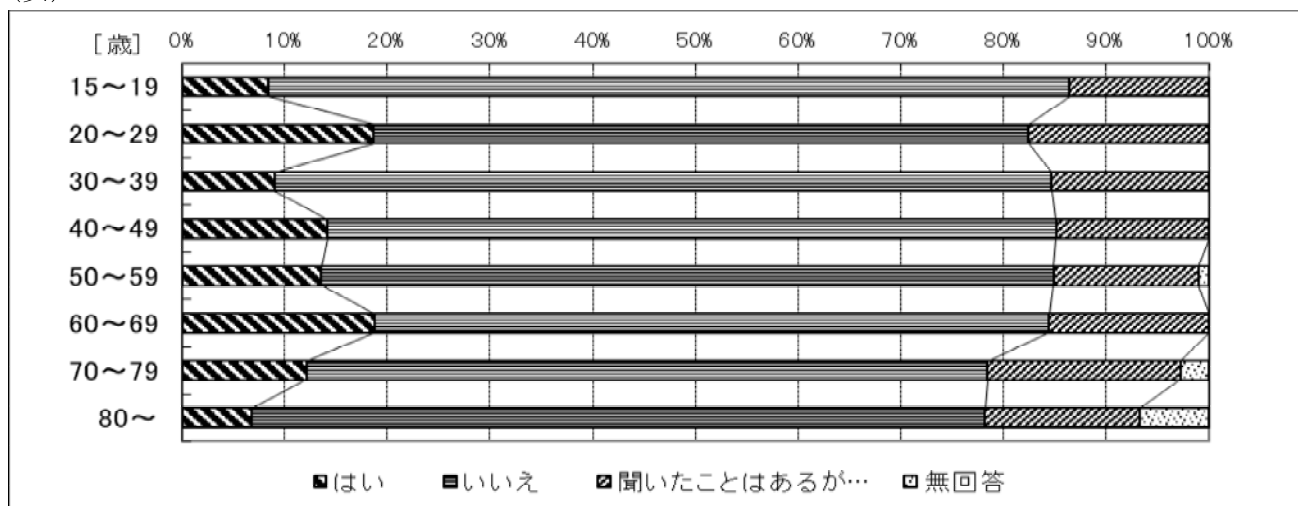
※括弧内は%



(男)



(女)



(男女計)

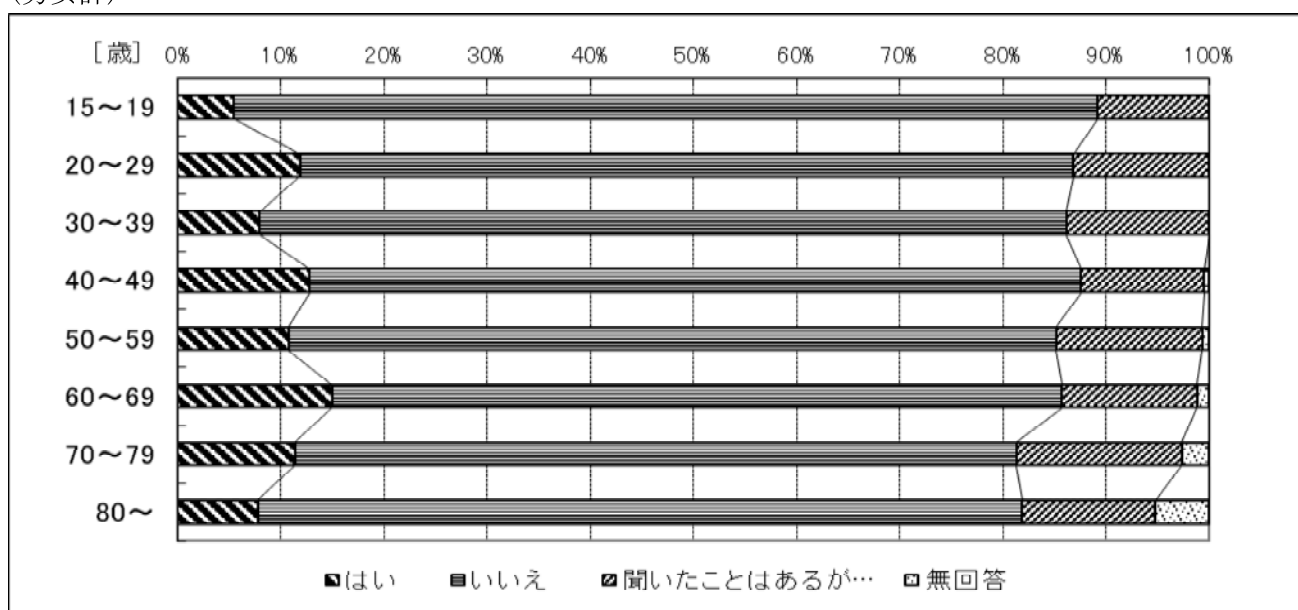


図 2—31 歯科保健に関する語句の認知度(オーラルフレイル)

問19 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(4) 歯と口の健康週間(6月4日からの一週間)

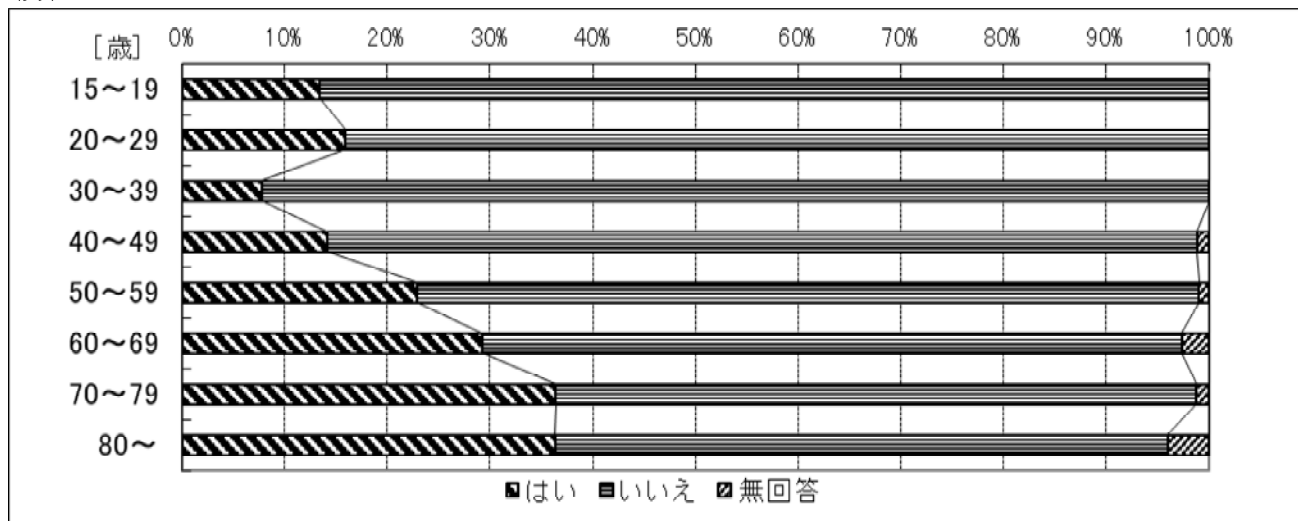
- 「歯と口の健康週間」という語句を知っている者は、全体の37.7%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳の年齢階級で51.3%と最も高く、30～39歳で20.2%と最も低かった。
- 男性では、70～79歳、80歳以上で36.4%と最も高く、30～39歳で7.8%と最も低かった。
- 女性では、60～69歳で67.5%と最も高く、15～19歳で27.1%と最も低かった。

表2—35 歯科保健に関する語句の認知度(歯と口の健康週間)

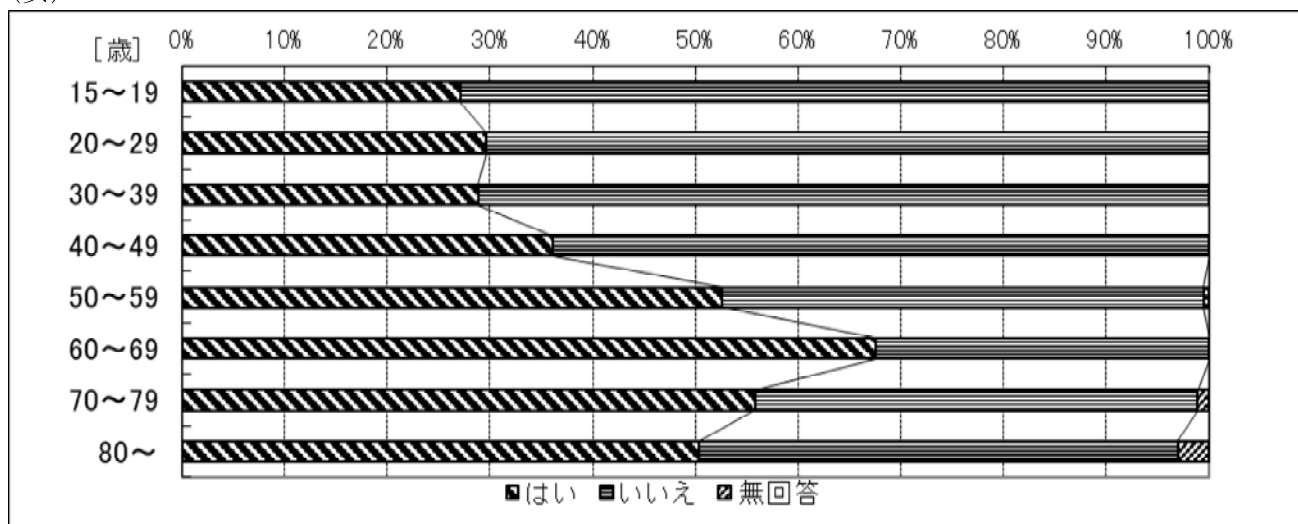
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	7 (13.5)	11 (15.9)	6 (7.8)	12 (14.1)	24 (22.9)	33 (29.2)	59 (36.4)	36 (36.4)	188 (24.7)
	いいえ	45 (86.5)	58 (84.1)	71 (92.2)	72 (84.7)	80 (76.2)	77 (68.1)	101 (62.3)	59 (59.6)	563 (73.9)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.0)	3 (2.7)	2 (1.2)	4 (4.0)	11 (1.4)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	16 (27.1)	27 (29.7)	32 (28.8)	51 (36.2)	101 (52.6)	104 (67.5)	101 (55.8)	67 (50.4)	499 (47.0)
	いいえ	43 (72.9)	64 (70.3)	79 (71.2)	90 (63.8)	90 (46.9)	50 (32.5)	78 (43.1)	62 (46.6)	556 (52.4)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	2 (1.1)	4 (3.0)	7 (0.7)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	23 (20.7)	38 (23.8)	38 (20.2)	63 (27.9)	125 (42.1)	137 (51.3)	160 (46.6)	103 (44.4)	687 (37.7)
	いいえ	88 (79.3)	122 (76.3)	150 (79.8)	162 (71.7)	170 (57.2)	127 (47.6)	179 (52.2)	121 (52.2)	1119 (61.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	2 (0.7)	3 (1.1)	4 (1.2)	8 (3.4)	18 (1.0)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

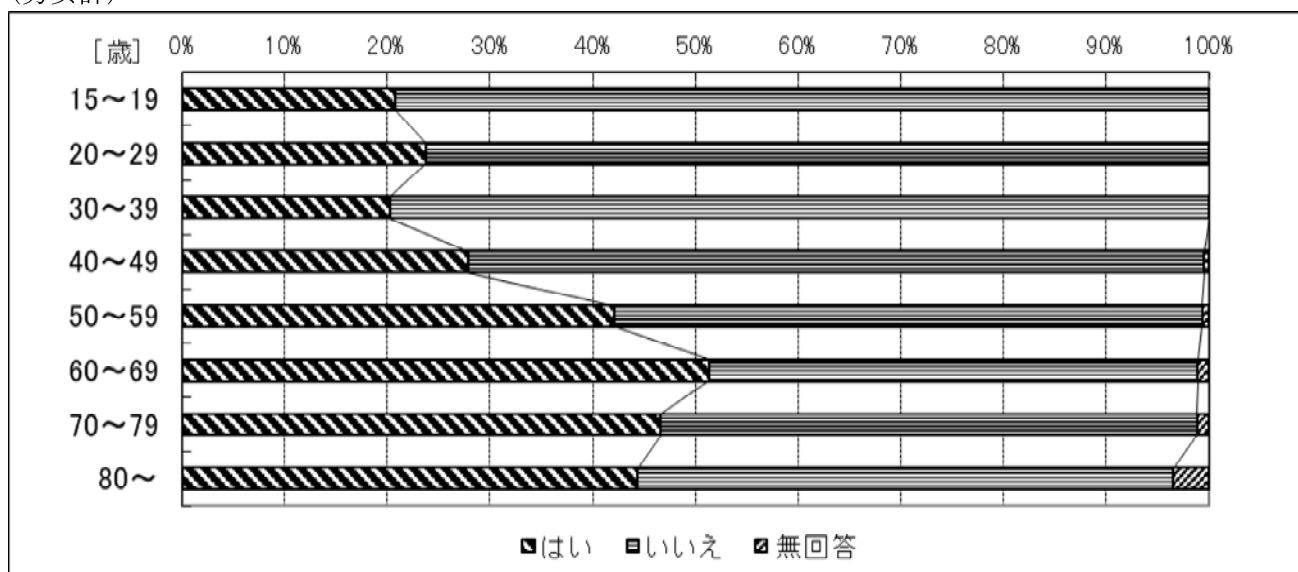


図 2—32 歯科保健に関する語句の認知度(歯と口の健康週間)

問19 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(5) いい歯の日(11月8日)

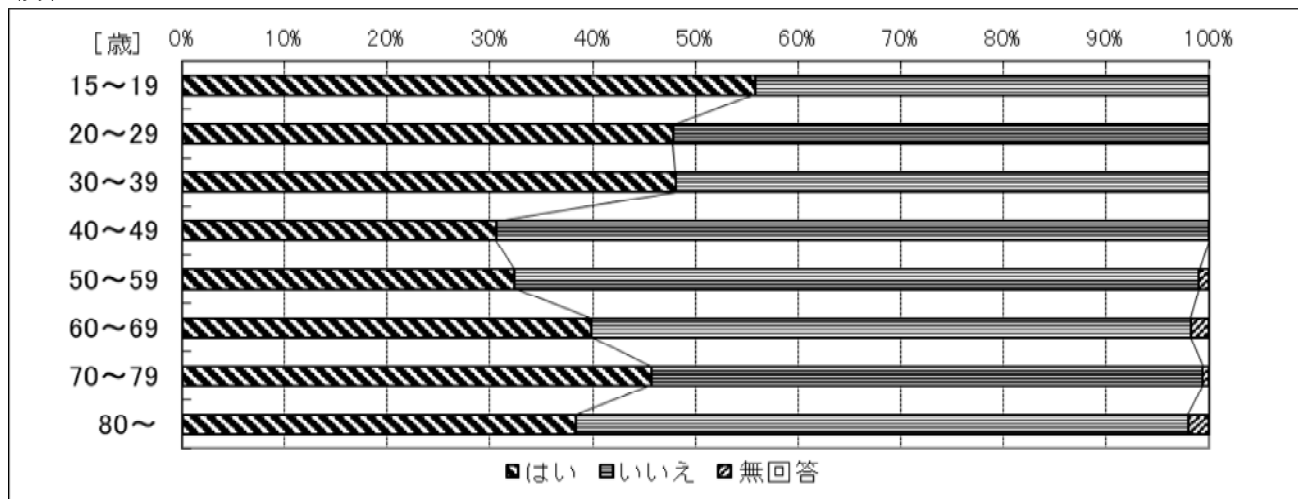
- 「いい歯の日」という語句を知っている者は、全体の48.6%であった。
- 年齢階級別にみると、20～29歳の年齢階級で60.6%と最も高く、40～49歳で44.2%と最も低かった。
- 男性では、15～19歳で55.8%と最も高く、40～49歳で30.6%と最も低かった。
- 女性では、20～29歳で70.3%と最も高く、30～39歳で48.6%と最も低かった。

表2—36 歯科保健に関する語句の認知度(いい歯の日)

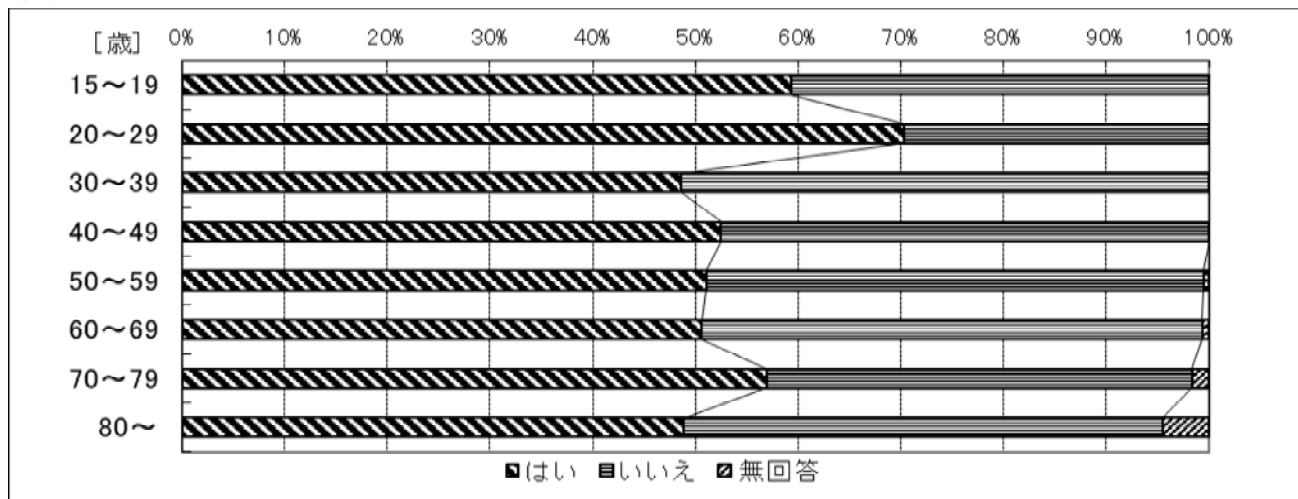
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	29 (55.8)	33 (47.8)	37 (48.1)	26 (30.6)	34 (32.4)	45 (39.8)	74 (45.7)	38 (38.4)	316 (41.5)
	いいえ	23 (44.2)	36 (52.2)	40 (51.9)	59 (69.4)	70 (66.7)	66 (58.4)	87 (53.7)	59 (59.6)	440 (57.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.0)	2 (1.8)	1 (0.6)	2 (2.0)	6 (0.8)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	35 (59.3)	64 (70.3)	54 (48.6)	74 (52.5)	98 (51.0)	78 (50.6)	103 (56.9)	65 (48.9)	571 (53.8)
	いいえ	24 (40.7)	27 (29.7)	57 (51.4)	67 (47.5)	93 (48.4)	75 (48.7)	75 (41.4)	62 (46.6)	480 (45.2)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	1 (0.6)	3 (1.7)	6 (4.5)	11 (1.0)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	64 (57.7)	97 (60.6)	91 (48.4)	100 (44.2)	132 (44.4)	123 (46.1)	177 (51.6)	103 (44.4)	887 (48.6)
	いいえ	47 (42.3)	63 (39.4)	97 (51.6)	126 (55.8)	163 (54.9)	141 (52.8)	162 (47.2)	121 (52.2)	920 (50.4)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)	3 (1.1)	4 (1.2)	8 (3.4)	17 (0.9)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

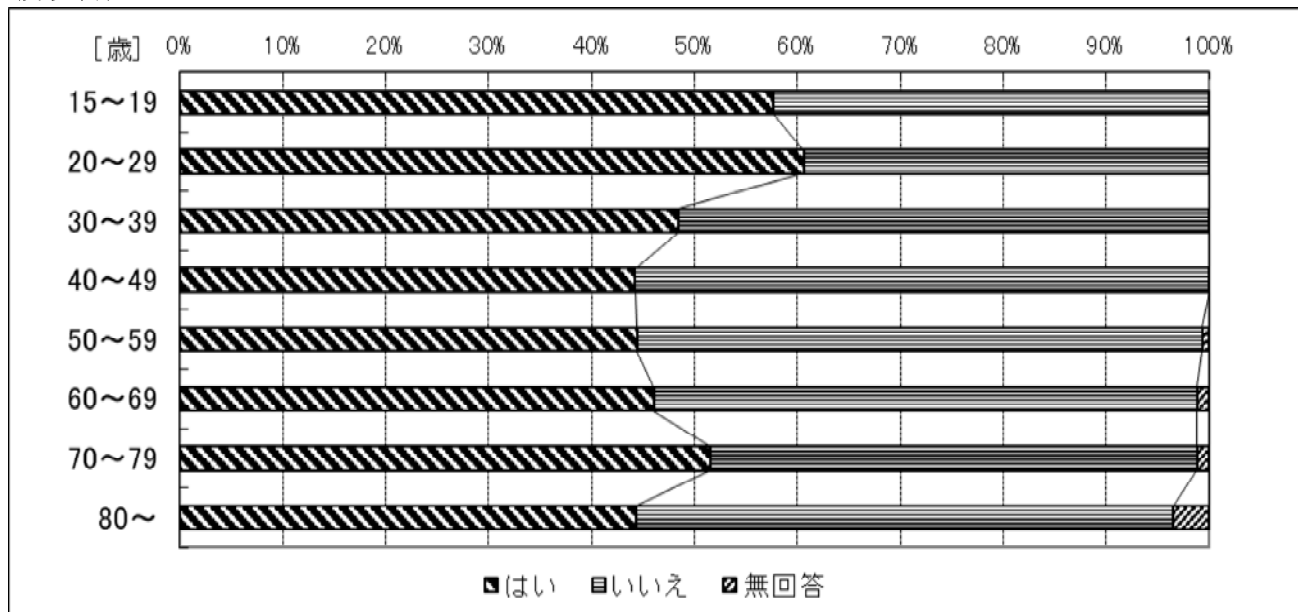


図 2-33 歯科保健に関する語句の認知度 (いい歯の日)

問19 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(6) いい歯の週間(11月8日からの一週間)

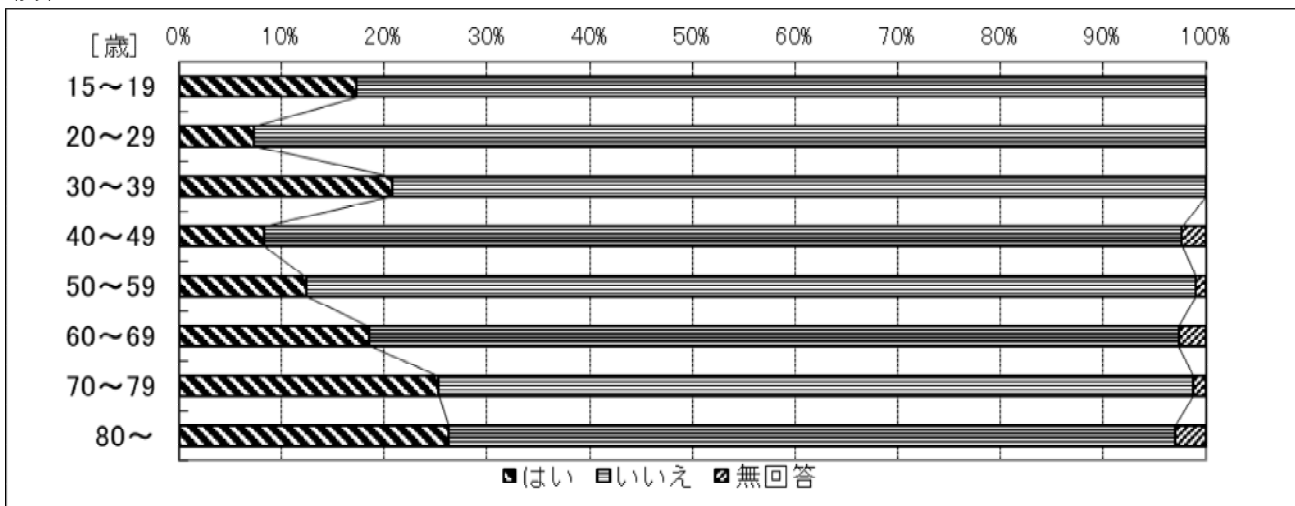
- 「いい歯の週間」という語句を知っている者は、全体の22.3%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で31.2%と最も高く、40～49歳で14.2%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で26.3%と最も高く、20～29歳で7.2%と最も低かった。
- 女性では、70～79歳で36.5%と最も高く、30～39歳で13.5%と最も低かった。

表2—37 歯科保健に関する語句の認知度(いい歯の週間)

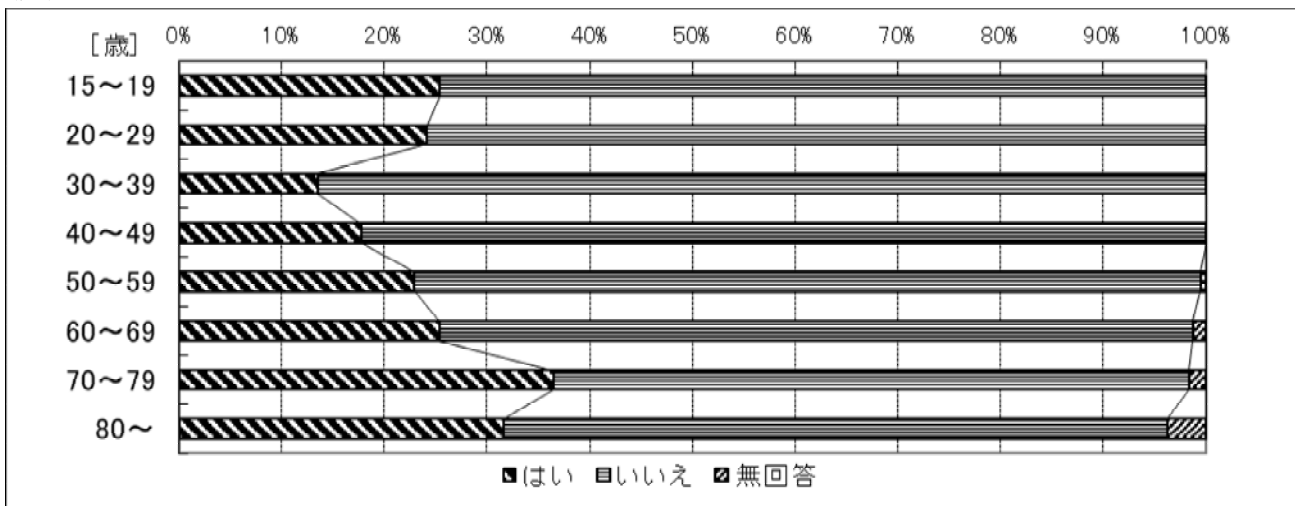
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	9 (17.3)	5 (7.2)	16 (20.8)	7 (8.2)	13 (12.4)	21 (18.6)	41 (25.3)	26 (26.3)	138 (18.1)
	いいえ	43 (82.7)	64 (92.8)	61 (79.2)	76 (89.4)	91 (86.7)	89 (78.8)	119 (73.5)	70 (70.7)	613 (80.4)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.4)	1 (1.0)	3 (2.7)	2 (1.2)	3 (3.0)	11 (1.4)
	計	52	69	77	85	105	113	162	99	762
女	はい	15 (25.4)	22 (24.2)	15 (13.5)	25 (17.7)	44 (22.9)	39 (25.3)	66 (36.5)	42 (31.6)	268 (25.2)
	いいえ	44 (74.6)	69 (75.8)	96 (86.5)	116 (82.3)	147 (76.6)	113 (73.4)	112 (61.9)	86 (64.7)	783 (73.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	2 (1.3)	3 (1.7)	5 (3.8)	11 (1.0)
	計	59	91	111	141	192	154	181	133	1062
計	はい	24 (21.6)	27 (16.9)	31 (16.5)	32 (14.2)	57 (19.2)	60 (22.5)	107 (31.2)	68 (29.3)	406 (22.3)
	いいえ	87 (78.4)	133 (83.1)	157 (83.5)	192 (85.0)	238 (80.1)	202 (75.7)	231 (67.3)	156 (67.2)	1396 (76.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.9)	2 (0.7)	5 (1.9)	5 (1.5)	8 (3.4)	22 (1.2)
	計	111	160	188	226	297	267	343	232	1824

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

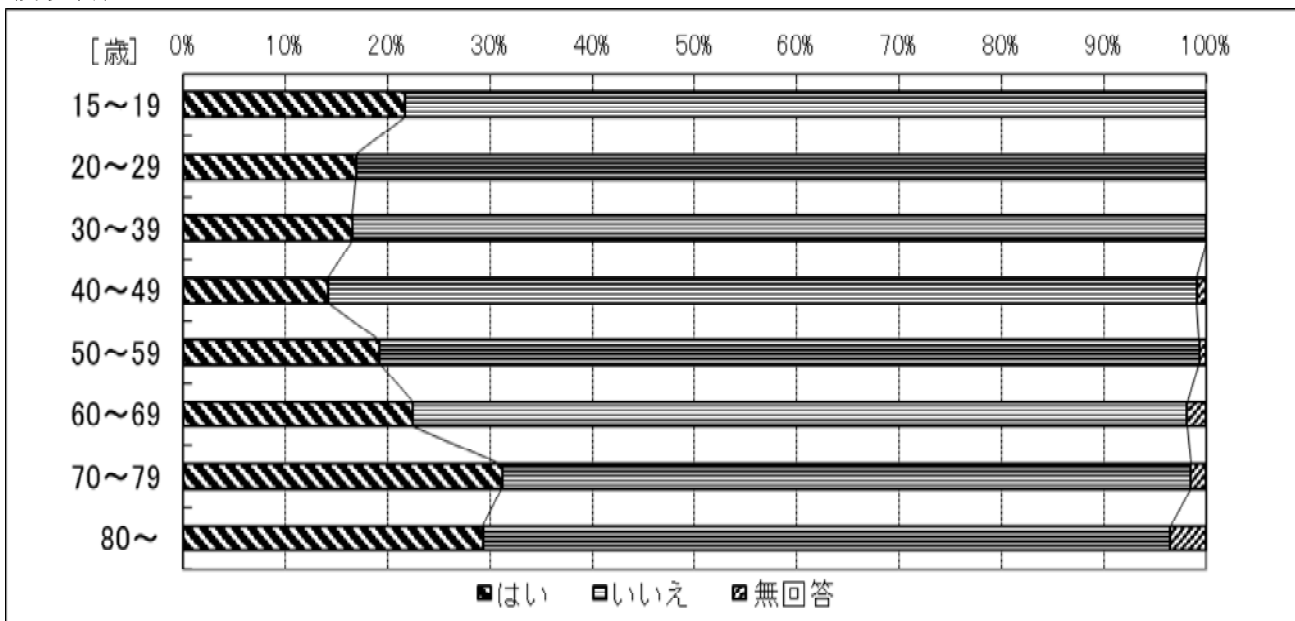


図 2—34 歯科保健に関する語句の認知度 (いい歯の週間)

#### IV 調査結果(3)健康増進計画等との対応

健康増進計画等で目標として掲げる項目等について、データを整理した。

##### 1. 健康日本 21(第二次)

項目	年齢区分	2022 年度	2016 年度	2011 年度	目標
口腔機能の維持・向上(60歳代における咀嚼良好者の割合の増加)	60～69歳	75.7%	64.5%	49.5%	80%(2022年度)
80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	75～84歳	62.0%	56.1%	55.3%	60%(2022年度)
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	55～64歳	82.6%	76.5%	63.5%	80%(2022年度)
40歳で喪失歯がない者の割合	35～44歳	85.2%	77.5%	66.1%	75%(2022年度)
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	20～29歳	54.7%	69.2%	44.2%	25%(2022年度)
40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	40～49歳	58.0%	56.0%	25.9%	25%(2022年度)
60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	60～69歳	72.1%	62.2%	38.8%	45%(2022年度)
過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	20歳以上	68.7%	63.6%	52.5%	65%(2022年度)

##### 2. 健康ひろしま 21(第2次)

項目	年齢区分	2022 年度	2016 年度	2011 年度	目標
40歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	40～49歳	58.0%	56.0%	25.9%	35%以下(2023年度)
50歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	50～59歳	69.1%	62.8%	36.0%	40%以下(2023年度)
80歳で20本以上の自分の歯を有する人の増加	75～84歳	62.0%	56.1%	55.3%	60%以上(2023年度)

##### 3. 広島県歯と口腔の健康づくり推進計画

項目	年齢区分	2022 年度	2016 年度	2011 年度	目標
20歳代で歯肉に炎症を有する人の減少	20～29歳	54.7%	69.2%	44.2%	35%以下(2023年度)
40歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	40～49歳	58.0%	56.0%	25.9%	35%以下(2023年度)
50歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	50～59歳	69.1%	62.8%	36.0%	40%以下(2023年度)
60歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	60～69歳	72.1%	62.2%	38.8%	40%以下(2023年度)
60歳で24本以上の自分の歯を有する人の増加	55～64歳	82.6%	76.5%	63.5%	85%以上(2023年度)
80歳で20本以上の自分の歯を有する人の増加	75～84歳	62.0%	56.1%	55.3%	60%以上(2023年度)
年1回歯科健診を受けている人の増加	20～59歳	65.7%	58.0%	45.8%	70%以上(2023年度)
年1回歯科健診を受けている人の増加	60～69歳	72.3%	67.7%	57.9%	80%以上(2023年度)

##### 4. 節目年齢における進行した歯周炎を有する割合

項目	年齢区分	2022年度	2016年度	2011年度
40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	35～44歳	57.4%	55.4%	23.9%
50歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	45～54歳	64.1%	59.1%	33.0%
60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	55～64歳	70.7%	64.0%	34.8%
70歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	65～74歳	76.0%	64.1%	42.1%



**参考****調査に用いた主な指標**

## 1 一人平均現在歯数

$$\text{一人平均現在歯数(本)} = \frac{\text{全受診者の現在歯数の合計}}{\text{受診者数}}$$

(注) 現在歯数：健全歯、未処置歯、処置歯の合計

## 2 一人平均う歯数(DMF 歯数)

$$\text{一人平均う歯数(DMF 歯数)(本)} = \frac{\text{全受診者の DMF 歯の合計}}{\text{受診者数}}$$

(注) D：未処置歯、M：喪失歯、F：処置歯  
DMF 歯：D+M+F(う蝕経験歯数を表す)

## 3 う蝕有病者率

$$\text{う蝕有病者率(\%)} = \frac{\text{う歯のある者の数}}{\text{受診者数}} \times 100$$

(注) う歯のある者：未処置歯、処置歯、喪失歯のいずれかを有する者

## 4 CPI(地域歯周疾患指数)

前回調査結果(平成28年度)と比較できるようにCPIコードは旧判定基準で集計した。

コード	判定基準
0	健全
1	歯肉出血
2	歯石沈着
3	浅いポケット(4mm以上6mm未満)
4	深いポケット(6mm以上)

付表 1

1 指定医療機関

市町	歯科医療機関名
広島市	ゆずりは歯科医院
	吉岡歯科医院
	高山歯科
	安芸歯科クリニック
	ドーン歯科クリニック
	(医)博美会宮脇歯科医院
	わかば歯科小児歯科
	藤林歯科医院
	(医) 社団緑清会きよはら歯科クリニック
	(医)M. コラソンほほえみ歯科クリニック
	谷口歯科医院
	(医)大原駅前歯科
	川原歯科クリニック
	しらかわ歯科クリニック
	(医)社団裕晴会こうの歯科・矯正歯科
	(医)社団 En fleurs アイリス歯科
	河野歯科医院
(医)はんざわ歯科医院	
府中町	新谷歯科医院
	竹中歯科医院
坂町	なかむら歯科医院
	ふじもと歯科医院
安芸高田市	山崎歯科医院
	みどりファミリー歯科
北広島町	(医)社団樹会芸北深井歯科医院
	北広島町芸北歯科診療所
大竹市	これなが歯科医院
	川口歯科医院
廿日市市	(医)社団安芸歯科クリニック
	村上歯科医院

市町	歯科医療機関名
呉市	辰川歯科医院
	岡田歯科医院
	(医)椿会里見歯科医院
	岡本歯科医院
	(医)社団大隅歯科
	橘歯科医院
東広島市	木村歯科医院
	にしはら歯科
	(医)社団裕穂会さとう歯科
三原市	エトワール歯科
	河田歯科医院
尾道市	(医)社団大聖会よりかね歯科医院
	(医)社団鶴栄会砂田歯科医院
福山市	(医)ほていや歯科
	岡田歯科医院
	小山歯科医院
	モリノブ歯科医院
	すがなみ歯科
府中市	まえおか歯科医院
	鳥枝歯科医院
	新市歯科医院
三次市	てらおか歯科クリニック
	(医)小西歯科小児歯科医院
庄原市	平戸歯科駅前
	かくたに歯科医院
三次市	紙谷歯科医院
	(医)社団高橋歯科医院
庄原市	佐々木歯科医院

## 2 協力歯科医療機関

市区町名	歯科医療機関名	協力歯科医師
広島市中区	若林デンタルクリニック並木通り	若林 大輔
	(医)社団小野歯科医院	小野 裕記
	(医)Saraswati 川越歯科医院	川越 亮利
	前田歯科医院	前田 羊一
広島市東区	安芸歯科クリニック	藤井 良典
	ひかりまち小児歯科・矯正歯科	竹本 美保
	ななほし歯科クリニック	前島 真紀子
	能美歯科医院	能美 和基
広島市南区	岡崎歯科口腔外科	岡崎 文彦
	(医)広島もみじ会すずき歯科小児歯科	鈴木 淳司
	三上歯科医院	福井 康人
広島市西区	K's デンタル	山根 一芳
	ジュン歯科クリニック	小笠原 純三
広島市安佐南区	さおとめ歯科医院	早乙女 裕彦
	(医)社団博煌会ミモザ歯科	古本 博嗣
	下祇園駅前歯科	武末 貴之
広島市安佐北区	(医)横畑歯科医院	横畑 裕太郎
	瀬川歯科医院	瀬川 和司
広島市佐伯区	(医)はんざわ歯科医院	半澤 泰紀
	山科歯科医院	山科 敦
	なぎさ歯科	藤井 宗仁
	かしづき歯科クリニック	河野 敦志
広島市安芸区	(医)ひらの歯科クリニック	平野 浩史
呉市	(医)社団優人会ゆめタウン呉 こもれび歯科	吉井 友宏
	水野デンタルクリニック	水野 尊文
	のりこ歯科医院	武田 典子
	もりぎね歯科医院	盛實 俊也
竹原市	三好歯科医院	三好 敏朗
三原市	郷田歯科医院	郷田 浩
尾道市	黒瀬歯科医院	黒瀬 濟
福山市	(医)Open UP クローバー歯科	大石 憲一
	よしだ歯科	吉田 知生
	いしい歯科クリニック	石井 敏也
	(医)社団秀信会岡本歯科医院	岡本 信
廿日市市	チャイルド歯科おとな・こども	山根 剛
	(医)社団安芸歯科クリニック	山中 史教
府中町	新谷歯科医院	新谷 宏規
熊野町	わだ歯科クリニック	和田 英志
海田町	(医)若星会あいあい歯科クリニック	五藤 博之

# 歯科健康診査票

調査番号： \_\_\_\_\_

調査施設名 \_\_\_\_\_

調査日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

歯科医師名 \_\_\_\_\_

(1) 住 所	市・町	区	(2) 性 別	1. 男	2. 女	
(3) 生年月日	1. 平	2. 昭	3. 大	年	月	日

(4) 歯の状況

上顎	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	(右)								(左)							
下顎	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	1.健全 歯数 (/)		2.未処置 歯数 (C)		3.処置 歯数 (O)		4.現在 歯数 (1+2+3)		5.要補綴 歯数 (△)		6.欠損補綴 歯数 (⊕)					

(5) 補綴物の状況

		上顎	下顎
補綴物数	架工義歯		
	部分床義歯		
	全部床義歯		

(6) 未処置歯のうち根面部のう蝕の有無

- あり
- なし

※未処置歯がない場合でも「なし」としてください

記入にあたり用いる符号

健全歯 : /      要補綴歯 : △  
未処置歯 : C    欠損補綴歯 : ⊕  
処置歯 : O      インプラント : Im

(7) 口腔清掃状態

- 良好
- 普通
- 不良

歯石の付着  
1. なし  
2. 軽度(点状)あり  
3. 中等度(帯状)以上あり

(9) その他の所見

- なし
- 歯列・咬合
- 顎関節
- 粘膜
- その他

(8) 歯肉の状況

	17または16	11	26または27
BOP			
PD			
BOP			
PD			
	47または46	31	36または37
個人コード(最大値)	歯肉出血		
	歯周ポケット		

[歯肉出血BOP]

0: 健全  
1: 出血あり  
9: 除外歯  
X: 該当歯なし

[歯周ポケットPD]

0: 健全  
1: 浅いポケット(4mm~5mm)  
2: 深いポケット(6mm以上)  
9: 除外歯  
X: 該当歯なし

判定区分

1. 異常なし

- CPI: 歯肉出血0  
かつ  
歯周ポケット0
- 未処置歯・要補綴歯・  
その他の所見がない

2. 要指導

- CPI: 歯肉出血1、かつ、歯周ポケット0
- 口腔清掃状態不良
- 歯石の付着あり(軽度、中等度以上)

3. 要精密検査

- CPI: 歯周ポケット1
- CPI: 歯周ポケット2
- 未処置歯あり
- 要補綴歯あり
- その他の所見あり

# 歯科健康診査票

調査施設名 \_\_\_\_\_

調査日 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

歯科医師名 \_\_\_\_\_

住 所	市・町	区	性 別	1. 男	2. 女	
生 年 月 日	1. 平	2. 昭	3. 大	年	月	日

## 歯の状況

上 顎	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	(右)								(左)							
下 顎	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	健康な歯の数	要治療のむし歯の数	治療済の歯の数	あなたの歯の数の合計	入れ歯などが必要な歯の数	入れ歯などになっている歯の数										

## 補綴物の状況

		上 顎	下 顎
補綴物数	ブリッジ		
	部分入れ歯		
	総入れ歯		

### 記入にあたり用いる符号

健全歯 : /      要補綴歯 : △  
 未処置歯 : C      欠損補綴歯 : ⊕  
 処置歯 : ○      インプラント : Im

## 口腔清掃状態

1. 良好
2. 普通
3. 不良

### 歯石の付着

1. なし
2. 軽度(点状)あり
3. 中等度(帯状)以上あり

## その他の所見

0. なし
1. 歯列・咬合
2. 顎関節
3. 粘膜
4. その他

永久歯は「親知らず」まですべてはえると32本です。

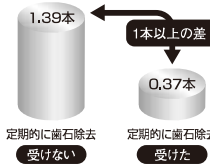
生涯にわたって自分の歯で食べることができるように、20以上の歯を保つことを目標にしましょう。歯が少なくなっているかたも、今ある歯を大切に保つように努めましょう。

歯周病は、歯を失う一番の原因であり、糖尿病、心臓病(狭心症・心筋梗塞等)、脳梗塞、関節リウマチ、内臓型肥満、早産・低体重児出産、肺炎等、全身の健康に悪影響を与えることも分かっています。

今回の歯科健診を機会に、かかりつけの歯科医療機関をもち、年1回はチェックを受けましょう。

健診結果は、今回の広島県歯科保健実態調査の集計以外には使用しません。また、統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。

### 5年間に失った歯の数



成人を対象とした歯周病予防の調査によると、定期的に歯石除去を受けると、受けなかった場合に比べ、5年間で1本以上の歯の喪失防止につながる事が判っています。最低でも年1回は歯石を取りましょう。

## 判定区分

- [ ] お口の中は良好な状態です。      [ ] 歯周病を疑う所見があります。      [ ] さらに詳しい検査や治療が必要な状態です。
- 良い状態です。丁寧な歯みがき      [ ] 歯肉に軽い炎症があります。      [ ] 浅い歯周ポケットが認められました。      [ ] その他の所見があります。(その他の所見欄をご確認ください)
- を続け、定期検診を心がけてください。      [ ] 歯みがき方法について指導を受けましょう。      [ ] 深い歯周ポケットが認められました。      [ ] むし歯があります。
- [ ] 歯石を取りに歯科医療機関を受診しましょう。      [ ] 歯石を取りに歯科医療機関を受診しましょう。      [ ] 歯が抜けたままになっています。

付表3

## 歯科健康診査の実際

### 1 診査基準

本調査は、次に掲げる基準に従って診査する。

#### (1) 現在歯

- ①現在歯とは、歯の全部または一部が口腔に表れているものをいう。現在歯は、健全歯、未処置歯、処置歯の3種に分類する。
- ②永久歯について診査し、乳歯については診査しない。
- ③過剰歯は含めないこととし、癒合歯は1歯として取り扱い、その場合の歯種名は上位歯種名をもってこれにあてる。(例：中切歯と側切歯の癒合歯は、中切歯とする。)
- ④現在歯の診査は、視診を原則とするが、十分な照明が得られない等の診査環境の場合には、レジン充填等の確認などに際し、必要があれば探針を用いること。

#### ア 健全歯 /

◆健全歯とは、う蝕あるいは歯科的処置の認められないもの（以下に記す未処置歯及び処置歯の項に該当しないもの）をいう。

◆咬耗、摩耗、斑状歯、外傷、酸蝕症、発育不全、形態異常、エナメル質形成不全、着色、歯周炎等の歯であっても、それらにう蝕のないものは健全歯とする。

(注) 歯質の変化がなく、単に小窩裂溝が黒褐色に着色しているもの、平滑面で表面的に淡褐色の着色を認めるが歯質は透明で滑沢なもの、エナメル質形成不全と考えられるものなどは、すべて健全歯とする。

◆予防填塞（フィッシャー・シーラント）は健全歯として扱う

#### イ 未処置歯

◆未処置歯 C

(注) 1) フッ化ジアミン銀（サホライド）のみを塗布したと考えられる歯は未処置歯とする。

2) 補綴物の2次カリエスも未処置歯とする

3) 未処置歯のうち、根面う蝕の有無について(6)の所定の欄に記載する

#### ウ 処置歯 ○

◆処置歯とは歯の一部または全部に充填、クラウン等を施しているものをいう。

◆歯周炎の固定装置、矯正装置、矯正後の保定装置、保隙装置及び骨折治療に用いる整復固定装置（三内式線副子等）は含まない。

◆治療が完了していない歯、二次う蝕や他の歯面で未処置う蝕が認められた処置歯は未処置歯として取り扱う。

◆予防填塞（フィッシャー・シーラント）の施してある歯については、可能な限り問診して、う蝕のない歯に填塞を施したものは健全歯とするが、明らかにう蝕のあつ

た歯に填塞したものは未処置歯とする。

- ◆根面板等を施してある歯は、処置歯とする。その場合、処置歯数に含め、補綴処置歯数には含めない。

## (2) 喪失歯

①喪失歯とは、抜去または脱落により喪失した永久歯をいう。喪失歯は、補綴処置歯、要補綴歯、補綴不要歯の3種に分類する。

②永久歯について診査し、乳歯については診査しない。

③喪失歯の診査は、視診を原則とするが、架工義歯のポンティック部等確証が得られない場合には、基底面の確認などに際し、必要があればWHOプローブを用いること。

インプラントを埋入しているかは、口頭にて確認し、視診をする。

(注) 喪失歯の診査では、受診者の年齢を考慮する。

### ア 補綴処置歯 ⊕

- ◆補綴処置歯とは、喪失部位に補綴処置がしてあるもので、⊕と記す。インプラントは、上部構造体の名称ではなく、Imと記す。

### イ 要補綴歯 △

- ◆要補綴歯とは、喪失部位に補綴処置がしていないもので、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められるもので、△と記す。

### ウ 補綴不要歯

- ◆補綴不要歯とは、智歯等の未萌出歯、先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められないもので、無記入とする。

(注) 受診者の年齢を考慮する。

## (3) 補綴の状況

永久歯の欠損部における補綴物装着の個数を診査する。補綴物は、架工義歯（ブリッジ）、部分床義歯、全部床義歯に分類し、上顎、下顎に装着してある個数をそれぞれ記す。

部分床義歯及び全部床義歯については、日常使用しているものであれば、診査時に装着しなくてもよい。また、一部破損していたり、あるいは欠損部の状況と一致しないものは要補綴歯とする。

(4) 歯肉の状況

永久歯について	76	1	67
	76	1	67

の各歯の歯肉の状況をWHOのCPI (Community Periodontal Index、地域歯周疾患指数)により、上顎、下顎とも頬・唇側面(近・遠心)および舌側面(近・遠心)の4点を以下の基準で診査し、最高コード値を記入する。

	コード	所見	判定基準
歯肉出血 BOP	0	健全	以下の所見が認められない
	1	出血あり	プロービング後10～30秒以内に出血が認められる
	9	除外歯	プロービングが出来ない歯(例:根の露出が根尖に及ぶ)
	×	該当歯なし	
歯周ポケット PD	0	健全	以下の所見がすべて認められない
	1	浅いポケット(4mm以上6mm未満)	プローブの黒い部分が歯肉縁にかかっている
	2	深いポケット(6mm以上)	ポケットプローブの黒い部分がみえない
	9	除外歯	プロービングが出来ない歯(例:根の露出が根尖に及ぶ)
	×	該当歯なし	

(5) 口腔清掃状態

口腔清掃の状態を、歯面のプラークと歯石の付着状から以下の基準で、視診により診査し、該当値を○で囲む。

[口腔清掃状態]

1. 良好 : ほとんど歯垢の存在が認められない状態
2. 普通 : 「良好」「不良」以外の状態
3. 不良 : 1歯以上の歯の歯肉縁から歯面の1/3を超えて歯垢が認められる状態

[歯石の付着]

1. なし
2. 軽度の付着 : 歯面に点状に少量付着
3. 中程度以上の付着 : 歯面に帯状、またはそれ以上に付着

(6) その他の所見

0. なし  
異常所見のないもの。
1. 歯列・咬合  
歯牙の位置、歯列弓形態、上下歯列弓関係などの異常があるもの。



矯正治療中の場合もこれに含み、その他欄に(き)又は(矯)と記す。

2. 顎関節

開口時や咀嚼時に疼痛もしくは顎運動障害が顕著に認められるものをありとし、クリック音や捻髪音のみで疼痛を伴わないものは異常なしとする。

3. 粘膜

何らかの歯科医学的処置を要すると思われるもの、例えば、褥瘡性潰瘍、悪性新生物、白板症、カンジダ症などである。

## 2 調査記入方法

協力歯科医師は、調査日と調査番号、医療機関名、歯科医師名を記入する。

### 1) 被調査者又は、歯科衛生士が記入する事項

※被調査者の氏名は記入しない、また、呼ばないなど匿名性に配慮してください。

- |         |  |
|---------|--|
| (1)住所   | 市、町、区があれば区まで記入する。<br>(それ以外は必要ありません)          |
| (2)性別   | 該当するものを○で囲む。                                 |
| (3)生年月日 | 平成、昭和、大正の別について、該当するものを○で囲み、<br>生年月日の数字を記入する。 |
| (4)調査番号 | 対象者が持参した、健診案内に記載のある調査番号を記入する                 |

### 2) 口腔診査により記入する項目

口腔診査を行う前に、(1)～(3)の事項に記入漏れがないことを確認する。

- |         |   |
|---------|---|
| (4)歯の状況 | それぞれの歯について、該当する事項を次の記号を用いて<br>記入する。<br>・健全歯 : /<br><br>・未処置歯 : C<br><br>・処置歯 : ○<br><br>・補綴歯 : ⊕<br>インプラントーIm<br><br>・要補綴歯 : △ (喪失歯のうち補綴物製作が必要なもの)<br><br>・補綴不要歯 : 空欄 |
|---------|---|

癒合歯は1歯として取り扱い、上位歯種名をもってこれにあてることから、中切歯と側切歯の癒合歯の場合は、中切歯の欄に記入し、側切歯の欄は空欄とする。

上記それぞれの歯数、現在歯数を歯式下の欄に記入する。該当なしの場合は0と記入するなど空欄にならない様に注意。

(5) 補綴物の状況	補綴物は、架工義歯、部分床義歯、全部床義歯に分類し、上顎、下顎に装着してある個数をそれぞれ記入する。						
(6) 根面う蝕の有無	未処置歯の中に根面う蝕が含まれるか否かについて記入する。未処置歯がない場合もなしとする。						
(7) 口腔清掃状態	<p>プラークの付着状況から</p> <p>1：良好</p> <p>2：普通</p> <p>3：不良</p> <p>歯石の付着状況から</p> <p>1：なし</p> <p>2：軽度(点状)あり</p> <p>3：中程度(帯状)以上あり</p>						
(8) 歯肉の状況	<p>永久歯について</p> <table border="1" data-bbox="890 916 1082 999"> <tr> <td>76</td> <td>1</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>1</td> <td>67</td> </tr> </table> <p>の各歯の歯肉の状況を診査し、最大値に該当するコードを記入する。</p> <p>歯肉出血 BOP</p> <p>0：健全</p> <p>1：出血あり</p> <p>9：除外歯</p> <p>×：該当歯なし</p> <p>歯周ポケット PD</p> <p>0：健全</p> <p>1：浅いポケット(4mm～5mm)</p> <p>2：深いポケット(6mm 以上)</p> <p>9：除外歯</p> <p>×：該当歯なし</p>	76	1	67	76	1	67
76	1	67					
76	1	67					
(9) その他の所見	<p>口腔内のその他の所見を記入する。</p> <p>0：なし</p> <p>1：歯列・咬合</p> <p>2：顎関節</p> <p>3：粘膜</p>						
判定区分	(4)、(7)、(8)、(9)から判定し該当するものを全て○で囲む。						



付表 4

# 令和 4 年度広島県歯科保健実態調査 「歯及び口腔に関する意識調査」調査票

《令和 4 年 7 月 1 日現在、満 15 歳以上の方を対象とします。》

調 査 番 号	
市 区 町 名	市 区 町 ※広島市の方のみ区名 を記入してください。
性 別	1 男 2 女
年 齢	歳（令和 4 年 7 月 1 日現在の満年齢）
職 業	1 勤務者（会社員、公務員） 2 自営業 3 主婦・家事従事 4 パート・アルバイト 5 学生・生徒 6 無職 7 その他

※「性別」及び「職業」については、あてはまる番号を○印で囲んでください。

**【提出期限：令和 4 年 11 月 30 日(水)まで（当日消印有効）】**

本調査はインターネットでの回答も可能となっております。  
インターネットにて回答いただいた場合は、調査票の提出は  
必要ありません。

下記 URL または、二次元コードより回答いただけます。

<https://ws.formzu.net/dist/S698895344/>



### 【調査票記入にあたってのお願い】

- 1 回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個人が特定されることはありませんので、ありのままを記入してください。また、個人情報も、厳重に管理します。
- 2 この調査票の記入は、原則として本人自身が記入し、本人が記入できない場合に限り、代理の方が本人の考えを聞きながら記入してください。
- 3 記入方法は、質問をお読みいただき、鉛筆またはボールペンで、あてはまる番号を回答欄に記入、または、あてはまる番号を○印で囲んでください。

広島県歯科衛生連絡協議会

問1 歯や口の状態について気になることはありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

	回 答 欄	
	気になる	気にならない
歯が痛い	1	2
冷たいものや熱いもので歯がしみる	1	2
歯ぐきが痛い	1	2
歯ぐきはれている	1	2
歯をみがくと血が出る	1	2
噛めないものがある	1	2
飲み込みにくい	1	2
味が分かりにくい	1	2
口がかわく	1	2
口臭がある	1	2
歯並びが気になる	1	2

問2 歯みがきの状況についておたずねします。

- 1 毎日1回みがく      2 毎日2回みがく      3 毎日3回以上みがく  
4 ときどきみがく      5 みがかない

回答欄

問3 歯間ブラシや糸ようじを使っていますか。

- 1 はい      2 いいえ

回答欄

問4 フッ素入りの歯みがき剤（歯みがき粉）を使っていますか。

- 1 はい      2 いいえ  
3 わからない

回答欄

問5 過去1年間に歯科健診を受けましたか。

- 1 はい      2 いいえ  
3 わからない

回答欄

問6 過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか。

- 1 はい      2 いいえ  
3 わからない

回答欄







付表 5

広島県歯科保健実態調査委員会名簿

区分	所属役職名	氏名
委員長	広島県歯科医師会理事	瀬川 和司
委員	広島市健康福祉局保健部健康推進課保健指導担当課長	宮城 昌治
〃	広島県健康福祉局健康づくり推進課健康づくり推進グループ主事	浦上 小百合
〃	広島県歯科医師会常務理事	山中 史教
〃	広島県歯科医師会地域保健部委員長	若林 大輔
〃	広島県歯科医師会地域保健部副委員長	藤井 宗仁